

2021年3月24日  
東京電力ホールディング株式会社  
福島復興本社

# 「福島復興への責任を果たすために」

～ 福島復興へ向けた取り組み ～

**TEPCO**

---

〔第14版〕

## 目次・本資料(写真集)について

1.	福島復興本社について〔福島復興本社代表あいさつ、組織体制〕	2
2.	福島復興本社の歩み	3
3.	(参考)避難指示区域の変遷	4
4.	〔トピックス①〕福島復興に向けた取り組み ～『これまで』と『これから』	5,6
	〔トピックス②〕コロナ禍における取り組み ～復興推進活動～	7
	〔トピックス③〕コロナ禍における取り組み ～流通促進活動～	8,9
	〔トピックス④〕復興と廃炉の両立に向けた取り組み	10
5.	〔年表〕東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向	11,12
6.	福島復興へ向けた活動実績	13
7.	原子力損害賠償に関する取り組みの概要	14～
8.	福島復興へ向けた取り組み <b>[除染等推進・復興推進・流通促進活動]</b>	
	・ 2020年公表の主な取り組み	17～
	・ 2019年公表の主な取り組み	27～
	・ 2018年公表の主な取り組み	36～
	・ 2017年公表の主な取り組み	44～
	・ 2016年公表の主な取り組み	49～
	・ 2015年以前公表の主な取り組み	53～
9.	雇用創出等福島復興に資する取り組み	57～
10.	東京電力廃炉資料館	59
	(参考) 福島復興へ向けた取り組み“アーカイブページ”のご案内	60,61

### 本資料(写真集)について

本資料は、福島復興本社設置(2013年1月)以降、代表定例会見等でお知らせしている各取り組みについて改めてとりまとめました。掲載内容は、ある程度コンパクトに編集しておりますので、本資料の最後にご案内しております当社HPからも是非ご覧ください

# 1. 福島復興本社について

## 福島復興本社代表あいさつ



< 大倉 誠 >



< 高原 一嘉 (次期代表) >

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故から10年余りが経過しました。今もなお、発電所周辺地域の皆さま、福島県の皆さま、そして広く社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

昨年は「道の駅なみえ」「東日本大震災・原子力災害伝承館」等の施設のオープンにより人々の集う場所が加わり、往来も増えたように感じています。復興へ向けた新たな動きが見られる一方で、今もなお多くの皆さまが避難を余儀なくされている状況が続いており、あらためて事故のもたらした影響の大きさ、深さを痛感しております。

そうしたなか、福島復興本社は、昨年10月に福島第一原子力発電所の立地町である双葉町に移転しました。復興の最前線に身を置き、引き続き、地域に根差した活動に努めてまいります。

私はこのたび、福島復興本社代表を退くこととなり、2021年4月からは福島第一廃炉推進カンパニーバイスプレジデントの高原を新たな代表として迎えます。私の役職は変わりますが、引き続き双葉町の福島復興本社にて福島復興に力を注いでまいります。

新体制になっても、「福島への責任を果たす」ことが我々の使命であり、原点であることに変わりありません。引き続き、グループ一丸となって福島復興に向けて取り組んでまいります。

福島復興本社代表 **大倉 誠** 2021年3月

## 福島復興本社の組織体制

### 福島本部

**主な業務**：各所と連携した地域対応、廃炉資料館の運営、復興本社代表補佐  
**設置箇所**：双葉町（双葉町産業交流センター・総括箇所）等

**主な業務**：国、自治体と連携した復興本社の施策立案、諸計画策定、地域のみなさまからのご要望への対応策の立案  
**設置箇所**：東京（統括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）等

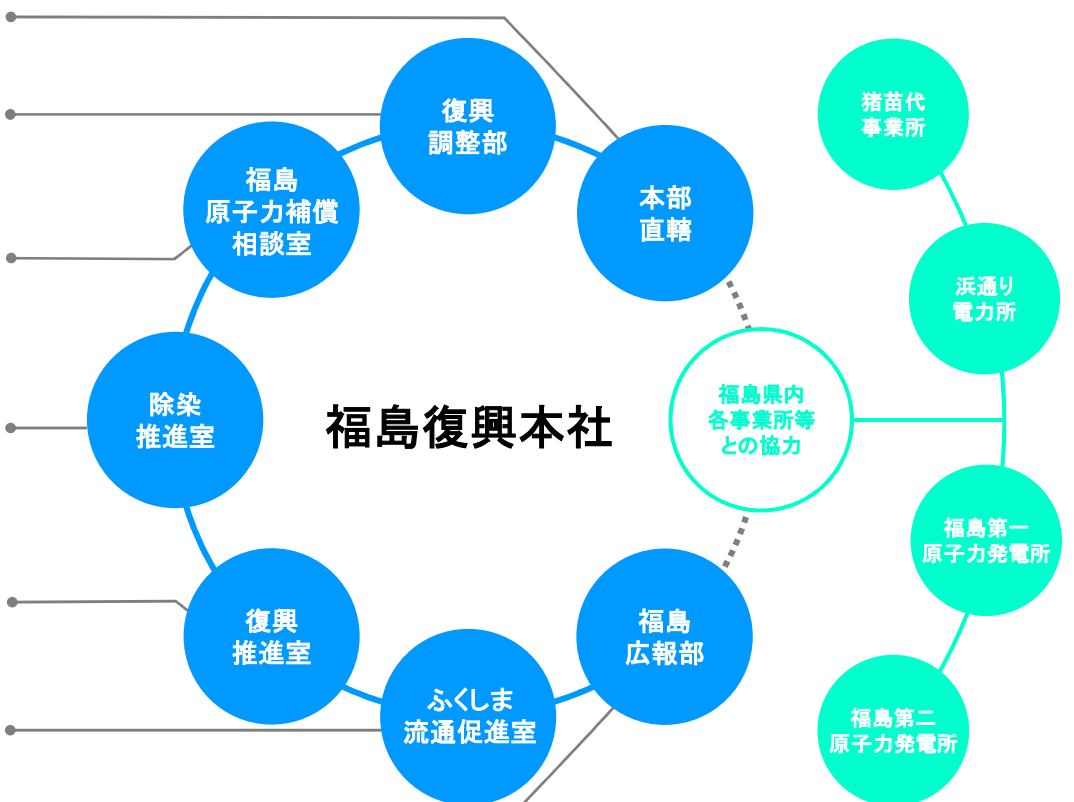
**主な業務**：賠償業務（円滑かつ早期の貫徹）  
**設置箇所**：いわき市（統括箇所）、福島市、郡山市、会津若松市、南相馬市、東京等

**主な業務**：除染等推進業務（国・自治体が実施する除染・中間貯蔵・廃棄物事業の推進、農林業等の再生に向けた人的・技術的貢献等）  
**設置箇所**：福島市（統括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）、富岡町等

**主な業務**：復興推進業務（帰還や地域復興を実現するための取り組み）  
**設置箇所**：富岡町（統括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）、浪江町、楢葉町、南相馬市等

**主な業務**：福島県産品の販路開拓・購入促進に向けた取り組み  
**設置箇所**：東京、福島市

**主な業務**：広報業務（県内の原子力・火力・水力発電所ならびに賠償・除染・復興推進の状況の広報活動等）  
**設置箇所**：福島市（統括箇所）、双葉町（双葉町産業交流センター）



2021年3月24時点

## 2. 福島復興本社の歩み

- 2011年3月31日“福島原子力被災者支援対策本部”設置
- 2013年1月に上記を改編し、“福島復興本社”を設置。以降、一層地元に着目して福島復興の責任を全うし、地域に貢献するため活動



- 2013年1月1日に福島県双葉郡の“Jヴィレッジ”に福島復興本社を設置
- 当社復興推進業務等の拠点であると同時に、廃炉作業の前線基地としても使用



- 2016年3月7日より、福島県双葉郡富岡町にある当社基幹事業会社、東京電力パワーグリッド株式会社の“浜通り電力所内”に移転
- 避難指示解除や地域の皆さまの帰還に先駆け移転し活動を開始



### (関係施設) アーカイブ施設の設置

- 2018年11月30日、福島県双葉郡富岡町にある当社エネルギー館を改装し、“東京電力廃炉資料館”を開館
- 福島原子力事故の記憶と記録・反省と教訓そして廃炉事業の現状などを社内外に伝承することを目的に設置



- 2020年10月26日より、福島県双葉郡双葉町の“双葉町産業交流センター”へ移転

地域の復興・帰還に先立ち、浜通り地域に機能・要員を集中



福島復興本社(2020.10)



浜通り電力所(2016.3)

※2020.10復興推進室中枢機能(旧福島復興本社)

### 3. (参考)避難指示区域の変遷

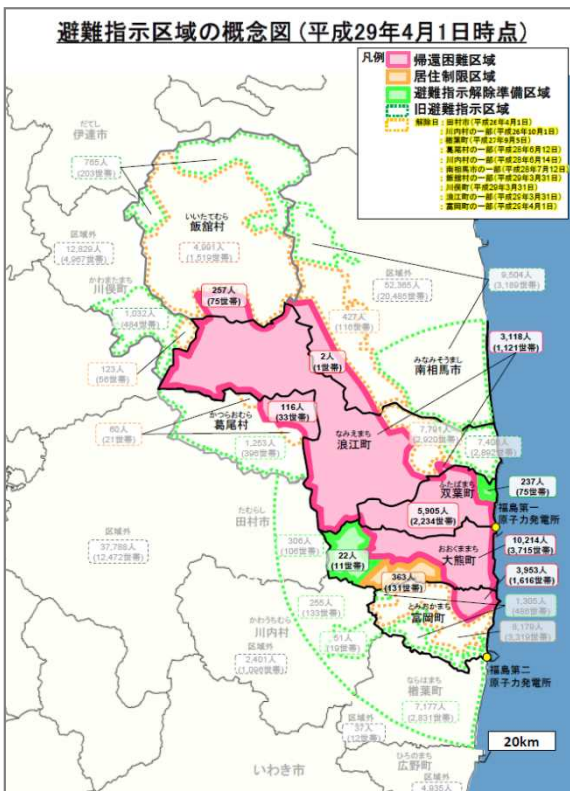
2012年3月30時点  
(警戒区域と避難指示区域)



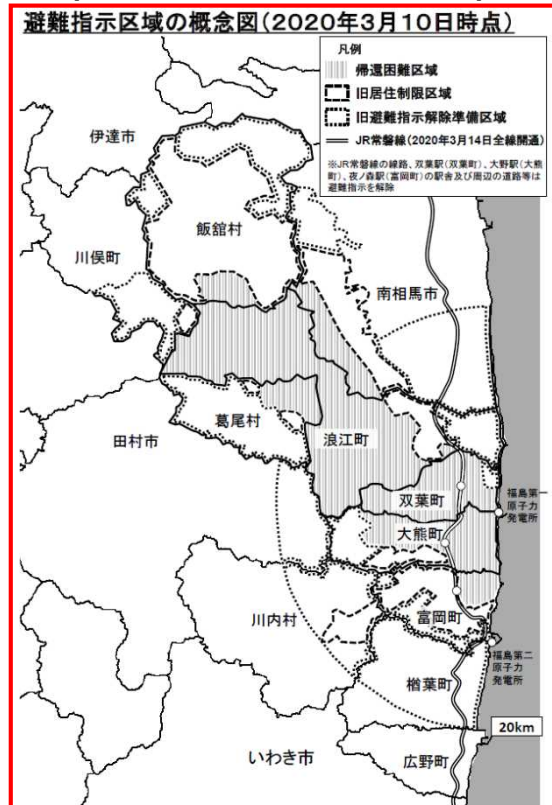
2013年8月7日時点  
(避難指示区域見直し後)



2017年4月1日時点  
(双葉町・大熊町と一部地域除き解除)



2020年3月10日時点  
(帰還困難区域を除き解除)



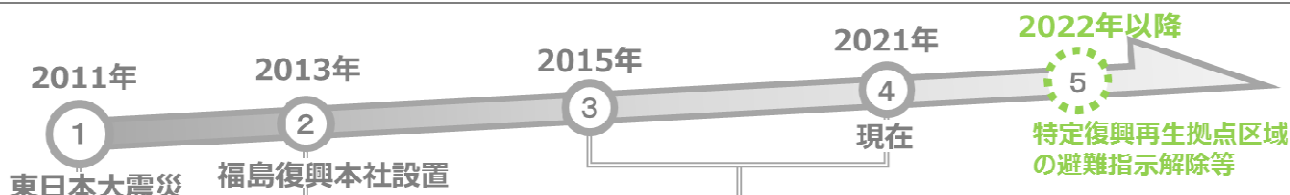
出典：「避難指示区域の概念図」(経済産業省) [https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hinan\\_history.html](https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hinan_history.html)を加工して作成

## 4. 福島復興へ向けた取り組み ～『これまで』と『これから』～

■ これまでの除染等推進・復興推進活動の取り組みの変遷と、2022年以降は地域の新たな復興ステージが始まることを受け、これからも各地域の変化を捉えた取り組みを推進

取組内容 ▶ 東日本大震災と福島第一原子力発電所事故以降、当社は事故の当事者として国・自治体の除染推進や被災された方々への復興推進等の取り組みを実施してきました  
 ▶ 2013年1月、福島復興本社をJヴィレッジ内に設置し、2016年3月には富岡町へ拠点を移し、より一層地域に根ざした福島復興に向けた取り組みを加速・強化するため、現在は、双葉町に拠点を構え取り組んでおります

### ■ 『これまで』の取り組み



#### ① 避難先でのお手伝い・一時立入り補助等



東日本大震災・原子力発電所事故直後の対応

#### ② 「帰還に向けた環境整備」・「国・自治体の面的除染」等への協力



#### ③④ 避難指示解除後の取り組み等



避難指示解除後の地域の復興状況に合わせた活動



除染等推進活動への人的・技術的協力

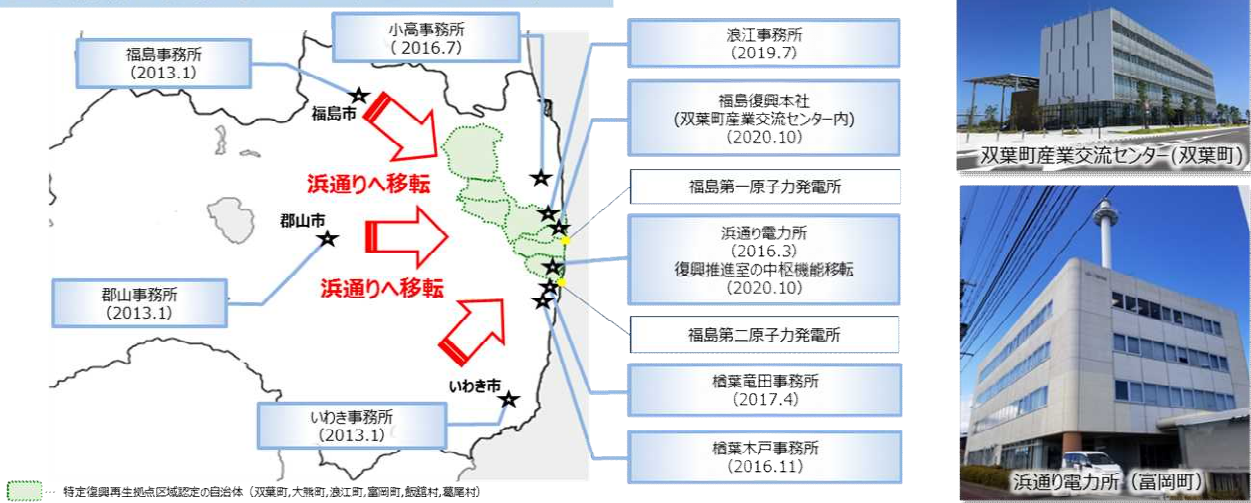
## 4. 福島復興へ向けた取り組み ～『これまで』と『これから』～

- 取組内容**
- 2022年春から2023年春にかけて、浜通り6町村で特定復興再生拠点区域の避難指示解除が計画されており、ご帰還に向けて最大限のお手伝いをさせていただきます
  - 今後も復興の最前線に身を置き、地域が目指すまちづくりのビジョンやニーズの変化を的確にとらえ、地域のお役に立てる取り組みを進めてまいります

### ■ 『これから』の取り組み

- 浜通り地域に拠点を移し、地域に根差した活動を継続

#### 主な活動の拠点 (2020年10月迄の取り組み)



### ⑤「まちづくり」・「営農再開」・「特定復興再生拠点区域の除染」等への協力



地域に根付いた復興推進活動



環境回復に向けた除染活動等を推進

- ・ 交流人口の増加を目指して地域の方々と共にイベントの企画などに参画し、当社社員が地域の一員として参加
- ・ 復興の進む地域では、特産品づくりに向けた営農モデルや6次産業化につながる取り組みが進んでおり、当社も春先の準備から収穫まで1年を通してお手伝い
- ・ 地域のニーズを捉えながら、まちづくりや産業創生を視野に入れた放射線技術・環境回復技術等を展開・活用することで各種要請に対応
- ・ また、廃炉推進カンパニーと協調した地元発注の一層の拡大と、地域との共生に向けた取り組みを強化

## 4. コロナ禍における取り組み ～復興推進活動～

■ 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、復興推進活動は福島県に常駐する社員のみでの活動や作業効率化などの継続のための工夫を重ねご要請全てに対応

【2月～3月】

■ 新型コロナウイルス発生時の対応

【社会情勢】

■ 新型コロナウイルス発生期

- ・2/29より関東圏からの社員の派遣を中止
- ・派遣中止に伴い福島に常駐する社員のみで復興推進活動を継続

【4月～5月】

■ 地域への感染拡大予防・活動再開に向けた取り組み

【社会情勢】

■ 緊急事態宣言  
■ 活動自粛期

- ・地域の皆さまとご相談し、作業時期等の調整を行いつつ、時期を逸することができない営農作業等は感染拡大防止策を講じながら、応援体制を構築し集中して実施
- ・福島県内で勤務する社員は県外への往来自粛

【6月～現在】

■ コロナ禍における活動継続の取り組み

【社会情勢】

■ 新しい生活様式  
■ ウィズコロナ期

- ・作業チームを1班4名以下に制限し、複数班での作業時は作業区画を設け不要な接触を回避するとともに、作業前ミーティングでは離隔距離を確保する等、感染拡大防止策を講じつつ、作業規模も縮小しながら活動を継続

作業前の感染対策



離隔距離を確保した作業前ミーティングやTBM-KYの様子

感染対策を講じながらの作業



営農再開に伴う電気柵設置



作業区画イメージ（作業計画書）



## 4. コロナ禍における取り組み ～流通促進活動～

- ECサイトやデリバリー・テイクアウトなどにより、福島県産品の美味しさや魅力を発信するとともに、更なる認知度向上や消費者への購入機会を創出する取り組みを新たに実施

### 【「発見！ふくしま」キャンペーン～届け！ふくしま 秋の味覚～について】



実施期間 2020年10月3日(土)～2020年12月18日(金)

実施場所 東京都を中心とした首都圏、福島県、インターネット上に開設したキャンペーン特設サイトで実施

- コロナ禍における巣ごもり需要などを踏まえ、新たな試みによるイベント開催や、情報発信にも工夫

#### 1. キャンペーンオープニングイベントの様態を生配信(10/3)

- ・ 東京会場(都内スタジオ)等にゲストを迎え、福島会場と福島県産食材を扱う都内飲食店2店舗をオンラインでつなぎ、福島会場からは「しゃくなげ牛」や「常磐もの」水産物の美味しさと生産者様の想いを、都内飲食店からは福島県産食材を使用した料理の美味しさを、それぞれお伝えしている様子をYouTube配信
- ・ YouTubeでは生配信と再配信の合計で約31,000回もの視聴実績となった
- ・ キャンペーン概要や特設サイトと連係したプレゼント企画等、全国の視聴者に向けて開催のお知らせと福島県産品のPRを実施することができた



オープニングイベントイメージ(都内スタジオ)



福島会場マルシェ(福島市)

オープニング  
イベント  
視聴数

延べ約31,000回  
(生配信・再配信合計)

#### 2. ECサイトを活用した福島県産品販売・プレゼント企画等(10/3～12/18)

- ・ キャンペーン期間中、特設サイトにて福島県産品を最大30%offで購入いただいたほか、計4,000名様を対象とした福島県産品プレゼント企画を実施し、特設サイトには約122,000回のアクセス、プレゼント企画には約62,000件の応募をいただいた
- ・ 福島県産品の魅力や美味しさについて、特設サイトやLINE「ふくしま応援隊」コンテンツ等で配信
- ・ ECサイト「ふくしま市場」を活用した福島県産品の認知度ならびに全国の消費者への購入機会の向上



特設サイトイメージ



LINE「ふくしま応援隊」※動画イメージ  
(※ LINE ID 「@glw2362m」)

ECサイト販売実績 約10,000点

プレゼント応募数 約62,000件

#### 3. 映像・音・香りの演出を加えるなど、福島県産品販売会に工夫

- ・ 首都圏の百貨店・スーパーマーケットや福島県内地元スーパーマーケットにおいて、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ福島県産品の販売会を多数開催
- ・ 「発見！ふくしま」パッケージの福島県産新米や福島牛、水産物等を販売
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策のため試食販売が出来なくなったことから、ライブキッチンやPR動画放映など福島県産食材を調理する際の音や香り等の効果を加えた購入促進を実施



東急百貨店 二子玉川フードショー様  
ライブキッチン(首都圏)



ルミネ立川様販売会(首都圏)



スーパーマート様販売会(福島県)

開催日数 延べ1,338日

## 4. コロナ禍における取り組み ～流通促進活動～

### 4. 発見！ふくしまお魚まつりby デリバリー&テイクアウト、出張キッチンカー

- ・ 都内5箇所※を拠点に福島県産の水産物「常磐もの」等を使用したメニュー9品を特設サイトで販売し、ご自宅等へお届けする、日本初となるデリバリー&テイクアウトフェスを開催(11月26日～30日)
- ・ 「常磐もの」メニューのうち4品を、キッチンカーにて有明と横浜の2箇所に出店(11月22日～30日の内7日間)
- ・ ご家庭などで気軽に「常磐もの」等を味わえる機会を創出することができ、連日売り切れるメニューが出るなど大変好評

※新橋、新宿、三軒茶屋、品川戸越、浅草橋



特設サイトイメージ



出張キッチンカー

販売実績	
デリバリー&テイクアウト (①)	約11,500食
出張キッチンカー (②)	約600食

### ■ 飲食店とコラボした福島県産品フェア開催等で約19,400食を販売

#### 1. 雑誌「東京カレンダー(11/21発売)」とコラボした飲食店フェア

- ・ 東京カレンダー様とタイアップし、都内などで人気の飲食店9店舗が約1ヶ月間(11月中旬から12月中旬)、福島県産食材を使用したメニューを提供するとともに、同雑誌1月号でフェアの内容や福島県産品の魅力を伝える記事を掲載
- ・ 掲載店舗は、フェア期間中ほぼ満席となるなど好評で福島県産品の美味しさをPRできた

#### 2. 小田急百貨店様、柿安本店様による飲食店フェア

- ・ 小田急百貨店様専門店街の販売会と初めて連携した飲食店フェア(10/30～11/10)や柿安本店様銀座店で福島県生産者応援フェア(11/1～11/30)を開催

#### 3. 美味しさ実感 福島牛グルメフェア

- ・ 焼肉・鉄板焼き店様を中心に5社9店舗が約1ヶ月間(11月中旬～12月中旬)、福島牛を使用したメニューを提供

販売実績	
雑誌「東京カレンダー」と コラボした飲食店フェア (③)	約3,400食
小田急百貨店様、 柿安本店様フェア (④)	約2,400食
福島牛グルメフェア (⑤)	約1,500食
①～⑤合計	約19,400食



東京カレンダー 1月号表紙



誌面での店舗紹介抜粋



小田急百貨店様ふくしまフェア



柿安本店様フェア

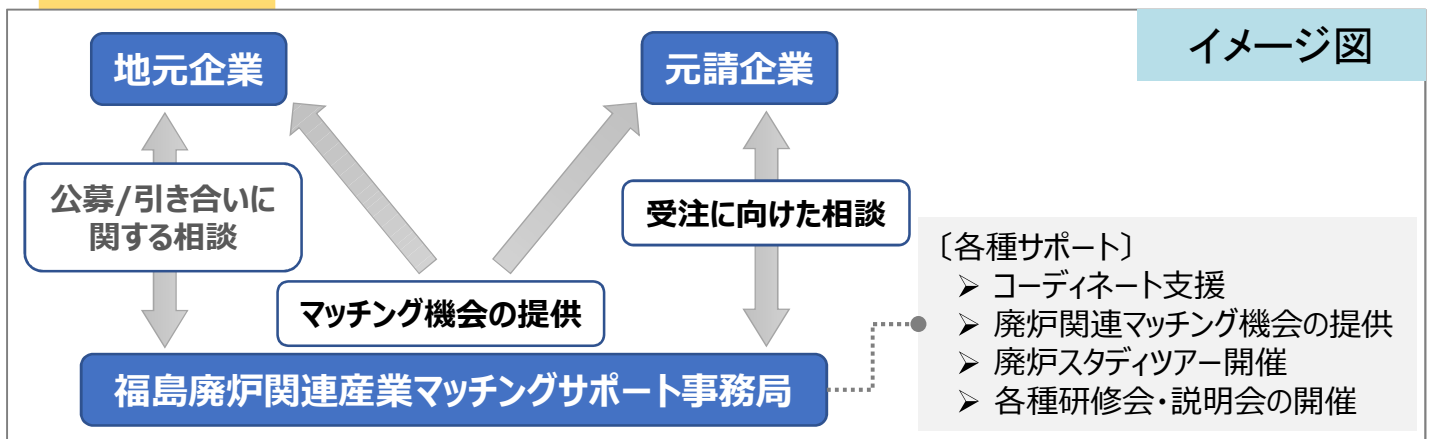
## 4. 復興と廃炉の両立に向けた取り組み

- 2020年3月27日福島第一原子力発電所の廃炉事業を通じて福島復興に貢献するための方針と具体策として、“復興と廃炉の両立に向けた福島の方々の約束”を取り纏め公表
  - 2020年7月1日三者協働<sup>※</sup>により、地元企業の福島第一原子力発電所における廃炉関連産業への参入を支援するため、相談窓口として「福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局」を新設し、運営開始
- ※ 東京電力ホールディングス（株）、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構、公益社団法人福島相双復興推進機構

- 2019年12月2日「トライアルマッチング会(第1回)」を開催
- 2020年2月14日「トライアルマッチング会(第2回)」を開催
- 2020年3月27日「復興と廃炉の両立に向けた福島の方々の約束」を公表



- 2020年7月1日「福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局」を新設  
内容は、福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局のホームページよりご覧頂けます。  
(ホームページURL <https://hairo-matching.jp>)



- 2020年10月1日社長直下に「浜通り廃炉産業プロジェクト室」を設置
- 2020年10月30日「令和2年度第1回廃炉関連産業マッチング会」を開催
- 2020年11月12日・19日「令和2年度廃炉スタディツアー」を開催
- 2021年3月5日「令和2年度第2回廃炉関連産業マッチング会」を開催

## 5. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】 ● 除染等推進活動 ● 復興推進活動 ● 流通促進活動 ● その他(復興へ向けた取り組み等)





## 6. 福島復興へ向けた活動実績

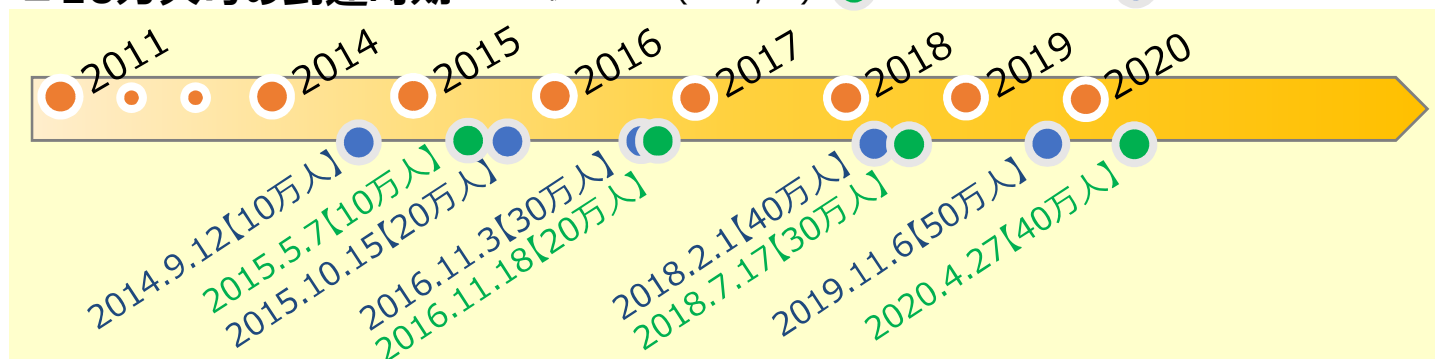
### <除染等推進活動（2月28日時点）※福島復興本社設立(2013.1月)からの累計>

項目	内容	対応人数実績	分布
除染(国直轄・市町村)への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約202,500人	46%
中間貯蔵への対応	試験輸送への対応、中間貯蔵に係る業務の技術的支援および調査・検討等	約132,100人	30%
廃棄物・リサイクル等への対応	滞留中の牛糞堆肥運搬・施用を促進するスキームへの対応、残置自動車 <sup>※</sup> 撤去・処分への対応等 <small>※避難指示区域内</small>	約19,700人	4%
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、産業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約27,400人	6%
その他	技術開発関連、除染に係る検討・提案等	約60,300人	14%
合 計		約442,000人	100%

### <復興推進活動（2月28日時点）※福島復興本社設立(2013.1月)からの累計>

項目	内容	対応人数実績	分布
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約205,600人	39%
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約132,700人	25%
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約103,700人	20%
営農再開等に向けた対応	牛舎清掃・電気柵の通電確認・側溝の泥上げ等	約22,900人	4%
その他	イベント対応、お声掛け・訪問活動 等	約65,300人	12%
合 計		約530,200人	100%

### ■ 10万人毎の到達時期 延べ協力人数(単位;人) ● 除染等推進活動 ● 復興推進活動

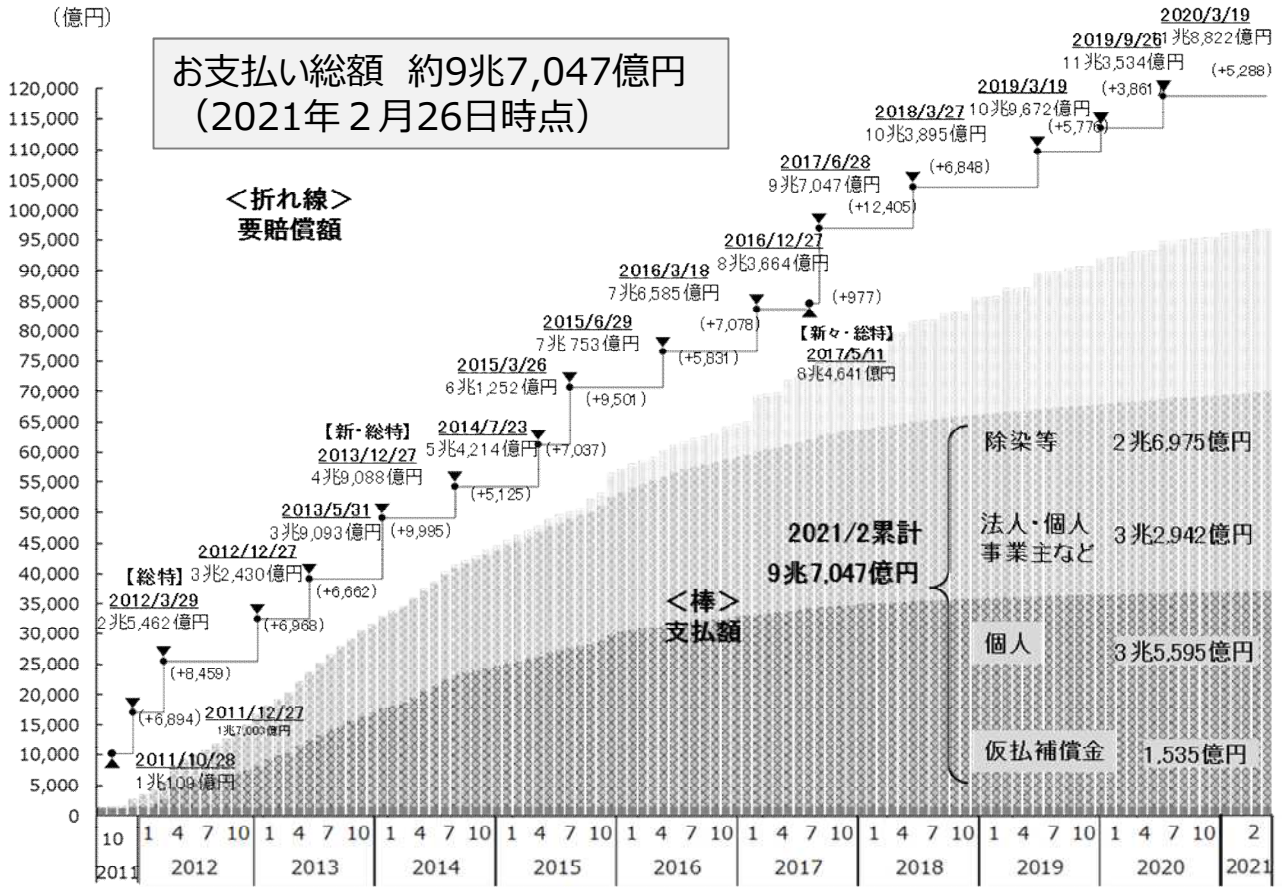


### <流通促進活動（2月28日時点）※ふくしま流通促進室発足(2018.2月)からの累計>

項目	内容	開催実績
イベント開催	福島県産品の試食販売会・飲食店フェア・マルシェなどの開催 等	8,119日

# 7. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要

## <賠償支払額及び要賠償額の推移>



## <ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月: 個人本賠償 〔精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難・帰宅・一時立入費用・生命・身体的損害等〕	9月: 法人本賠償 〔営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等〕
2012年	2月: 自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月: 建物の修復費用等に係る賠償	2月: 自動車に対する賠償 12月: 債却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月: 宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月: 田畑に係る賠償	3月: 宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月: 田畑に係る賠償
2014年	1月: 精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月: 移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月: 住居確保に係る費用の賠償 7月: 墓石等の修理に係る賠償 9月: 宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月: 宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月: 家財の個別賠償 3月: 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月: 墓石等の移転に係る賠償 6月: 避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月: 避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月: 新たな営業損害賠償等
2016年	2月: 住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月: 農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月: 住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月: 平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月: 移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月: 2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月: 2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月: 住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月: 消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

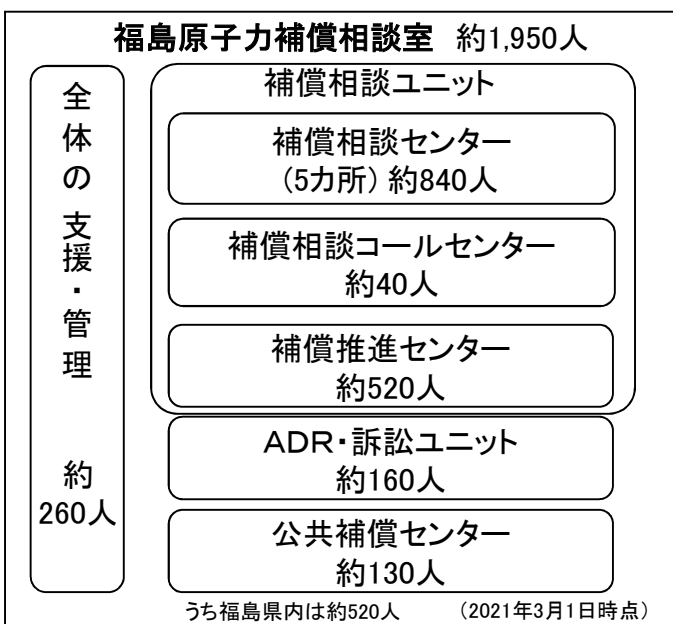
## 7. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要

### 迅速な原子力損害賠償に向けた組織体制

- 損害賠償の迅速かつ適切な実施のための方策「3つの誓い」を踏まえ、被害を受けられた皆さまに早期に生活再建の第一歩を踏み出していただくため、必要な体制を弾力的に整備しつつ、賠償を進めております
- 今後も業務の運用改善等を図ることにより、引き続き最大限努力してまいります



【福島原子力補償相談室配属前研修の様子】



### 補償相談センター

- 設 置 数 : 5カ所(福島県内3カ所、福島県外2カ所)
- 業 務 内 容 : ○賠償に関する説明会・相談対応、ご請求書の作成支援・受付、現地確認・説明  
○主に相談窓口(福島県内に11カ所。※2021年2月末時点)やご訪問先にて業務を実施
- 実 績 : 窓口での受付対応件数 約701,100件、説明会開催件数 約1,900件、説明会へのご来場者数約37,100人、戸別訪問件数 約184,400件(復興本社設立以降～2021年2月末時点)



【相談窓口】



【個別相談ブース】(ご来場をお待ちしている様子)



## 7. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要

### 補償相談コールセンター

- 業務内容：○電話による賠償に関する問い合わせ、請求書の郵送手配・記入方法に関するご相談対応  
○最後の一人まで適切に賠償を行うため、賠償金を未だに請求されていないご相談者さまへ電話を通じて請求のご案内
- 受付時間：9時～19時(月～金(除く休祝日))、9時～17時(土・日・休祝日)
- 実績：ご相談者さまからいただいたお電話の本数は約255万本(コールセンター設立以降、2021年2月末までの累計)



【補償相談コールセンターの様子】

### 補償推進センター

- 業務内容：○ご請求書類の発送・受領、ご請求内容の確認、賠償の考え方についてのご説明・協議、賠償金額の算定およびお支払いの手続き  
○ご請求内容の確認には、「個人賠償」「法人賠償」「財物賠償」に大別し、迅速かつ公正な賠償の実施に努めております



【補償推進センターの様子】

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

- [復興の歩み] ・2020年3月4日 避難指示解除〔双葉町（帰還困難区域を除く）〕  
 ・2020年3月4,5,10日 避難指示解除  
 〔双葉駅,大野駅,夜ノ森駅の各周辺等（特定復興再生拠点区域内）〕  
 ・2020年3月14日 JR常磐線全線開通

### ■ 除染等推進活動

#### 営農再開に向けた緑肥栽培による地力回復とソバの試験栽培

実施期間 2019年7月 ～

実施場所 大熊町（大川原地区）

実績 社員 延べ180人

内容 大熊町、大熊町農業復興組合さまと協同で、課題となっている除染後農地の保安全管理(緑肥栽培※)およびソバの試験栽培を実施

※緑肥とは、栽培している植物を収穫せずそのまま田畑にすき込み、後から栽培する作物の肥料にすること

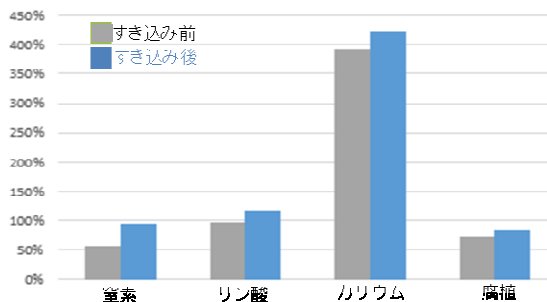
栽培効果

- ▶栽培後のすき込みによる地力回復効果(植物の三大栄養素の窒素・リン酸・カリウムなど)を確認
- ▶腐植(※)増加により、土壌の性質も改善

※腐植とは、すき込んだ緑肥が土壌中で分解して残る有機物。腐植によりミズなどの土壌生物が活発になり土作りが促進



白花ソバ開花状況  
(2020年9月7日撮影)



緑肥のすき込み効果

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
緑肥栽培	■						
土壌分析			■				
すき込み				■			
施肥					■		
地力回復評価					■		
種まき・発芽						■	
開花						■	■
放射能濃度評価						■	■
収穫							■
次期作物検討							■

□ は白花ソバ関連

スケジュール

#### 雑草対策・景観向上のためのカバープランツ共同調査の開始

実施期間 2020年10月1日 ～

実施場所 浪江町 町有地 (180㎡)

実績 社員 延べ30人

- 内容
- ▶ 除染・解体作業完了後の宅地は、保全作業が行き届かない場合、雑草が繁茂してしまい、景観の低下のみならず、鳥獣被害問題も深刻化してしまう
  - ▶ 地表を覆う(カバーする)ように生育するカバープランツによる雑草対策を施すことを浪江町へ提案し、町有地を活用した雑草対策や鳥獣被害の削減効果について共同調査を開始することができた (10月:播種・苗の植え込み作業、水やり、看板設置 11月:水やり)
  - ▶ 景観向上や避難されている方々の帰還意欲の醸成、管理コスト削減や鳥獣被害の削減につながるよう、今後も取り組んでいく



苗の植え込み作業風景

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 福島県で生活する東京電力社員の個人被ばく線量計測

**実施期間** 2018年11月～ 2019年3月（2020年7月1日 英国の放射線防護論文誌に掲載）

**実施場所** 福島県内

**実績** 社員 277人（うち39人は平日のみの計測者）

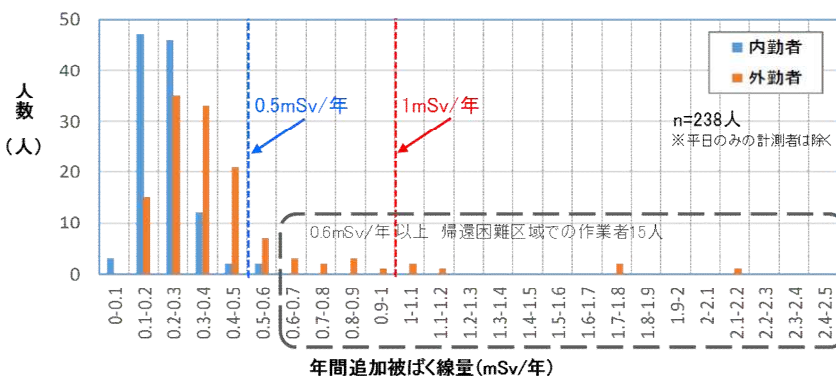
- 内容**
- 年間追加被ばく線量等の実態把握に向け、福島復興本社社員による個人線量計測を実施
  - 福島で生活し、主に浜通り地域で活動する社員※が、休日を含む最大6日間で個人線量計とGPSを携帯して、日常生活における詳細なデータを取得

※ 主な拠点（福島市・郡山市・南相馬市・富岡町・いわき市）を中心として、各地域に移動して活動

- 屋内・屋外の滞在場所や移動などをGPSで把握し、平日・休日の個人被ばく線量の違いを区別するなど、当社独自のノウハウを駆使して、年間追加被ばく線量を算出、とりまとめた

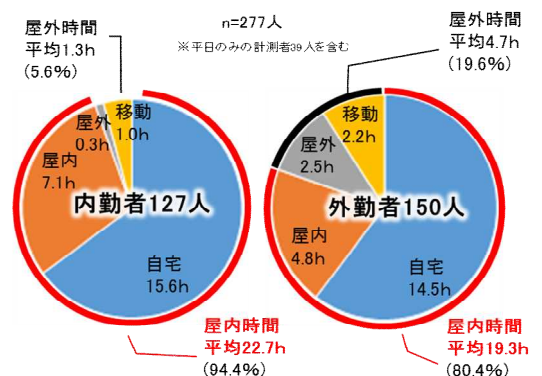
- 調査結果**
- 調査対象社員全体の約97%は、年間追加被ばく線量1ミリシーベルト以下
  - ✓ 帰還困難区域での作業者は、年間追加被ばく線量平均約1ミリシーベルト
  - ✓ 外勤者のうち帰還困難区域以外の作業者は、年間追加被ばく線量0.6ミリシーベルト以下
  - ✓ 内勤者全体の約98%は、年間追加被ばく線量0.5ミリシーベルト以下

**書誌情報** 英国の放射線防護学会の査読付き論文誌「Journal of Radiological Protection」に掲載  
 題名；「Measuring individual external doses of Tokyo Electric Power Company Holdings employees living in Fukushima prefecture（福島県で生活する東京電力社員の個人被ばく線量計測）」  
 掲載先； <https://doi.org/10.1088/1361-6498/ab968e>



出典：「Keizo Uchiyama et al. 2020 J. Radiol. Prot. 40 667」を加工して作成

「年間追加被ばく線量」算定結果の人数分布



1日あたりの滞在場所等の平均時間

### 帰還困難区域内町村道の通行再開に向けたモニタリング対応

**実施期間** 2020年7月2日、13日 **実施場所** 浪江町、葛尾村 (町道215号、村道204号)

**内容** 帰還困難区域内の浪江町道215号(阿掛線約3.1km)および葛尾村道204号(柏原・阿掛線約1.3km)は一般車の通行が制限がされていたが、この度内閣府からの要請に基づき、通行再開に向けてモニタリング等を実施、10月1日(木)12時に自由通行化



【浪江町】 歩行モニタリングの状況

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 特定復興再生拠点区域における除染への協力

実施期間 2017年12月～

実施場所 双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村、葛尾村

実績 社員 延べ6,220人（2019年12月末時点）

内容 環境省からの要請により、特定復興再生拠点区域の除染作業において技術的協力を実施

- ① 除染前後の線量調査・汚染状況確認  
除染前・後にシンチレーション式サーベイメータを使用し、地表から1m高さの空間線量率を測定
- ② 除染工法検討の技術支援  
除染前の線量調査結果による除染工法検討の技術支援

大熊町



町道除染後の線量調査

富岡町



宅地除染後の線量調査

### 二輪車への特別通過交通制度適用に向けたモニタリング等の対応

実施期間 2019年11月6日、11月7日、12月4日、12月5日

実施場所 浪江町、双葉町、大熊町、富岡町  
〔国道6号・114号、県道34号・35号・36号・253号・256号〕

実績 社員 延べ16人

内容 内閣府からの要請により、路線の放射性物質の影響を確認するため、走行・歩行モニタリングによる空間線量率測定、空気中のダスト(大気浮遊じん)の採取を実施



走行モニタリングの状況

### J R常磐線(富岡駅～浪江駅間)の運転再開に向けた対応

実施期間 2019年12月20日（2020年3月14日運転再開）

実施場所 J R常磐線 富岡駅～浪江駅間 20.8km

実績 社員 延べ30人

内容 内閣府からの要請により、J R常磐線(富岡駅～浪江駅間)の運転再開に向け、同区間における列車内でのモニタリングを実施

- ・列車内の空間線量率測定結果：0.03～1.52  $\mu\text{Sv}/\text{h}$
- ・同区間1往復の被ばく線量：約0.32  $\mu\text{Sv}$  ※

〔※胸部X線被ばく線量（1回あたり60 $\mu\text{Sv}$ ）の約180分の1  
【出典】内閣府原子力災害対策本部公表資料(2020年2月28日)〕



試運転中のJ R常磐線列車



列車内モニタリングの状況

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### ■ 復興推進活動

#### 新たな特産品づくりに向けた営農活動のお手伝い

実施期間	2020年4月～10月【楡葉町】、 2020年5月～10月【川内村】
実施場所	楡葉町、川内村
実績	社員 延べ 887人（楡葉町：740人、川内村：147人）

地域の特産品づくりにより新しい営農モデルや6次産業化※を目指す楡葉町と川内村において、サツマイモと葡萄の収穫まで一年を通してお手伝い

※ 農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態

#### 【楡葉町】

- 4月から除草作業や電気柵の設置、定植作業等につき、サツマイモの成長に影響を及ぼす雑草の除草に加えて、9～10月に収穫作業を実施
- 11月7日に楡葉町で開催された「ならSUNフェス」では収穫したサツマイモが地域の皆さまに振る舞われた

#### 【川内村】

- 5月からの圃場整備につき、今回は7～8月にレインガード設置、9月は防鳥ネット設置、10月は収穫作業を実施
- 地元の方々や川内村職員の皆さまと協力し、初めての葡萄収穫作業や川内小学校葡萄収穫の体験学習において、収穫時のサポートや運搬等、補助員として協力

内容



【楡葉町】苗の定植



【楡葉町】サツマイモ収穫



【川内村】レインガード設置



【川内村】葡萄収穫

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### お盆・お彼岸に向けた墓地除草のお手伝い

実施期間	2020年6月～8月 ※2013年から毎年実施	実施場所	南相馬市、川俣町、浪江町、 双葉町、大熊町、富岡町
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>6市町からのご依頼により、お盆・お彼岸に向けた墓地除草を実施</li> <li>住民の方が安全にお参りできるよう、墓地構内に加え進入路、駐車場等の共用スペースを除草</li> <li>今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため福島常駐の社員のみでの作業となったが、社員一丸となり、ご依頼いただいた189か所をお盆前までに完了</li> </ul>		



【浪江町】除草後の集積

### コロナ禍における地域イベント開催に向けたお手伝い状況

コロナ禍での地域イベント開催に向け、会場の感染防止対策やオンライン型イベントの準備を通じて、地域の皆さまが集える場所づくりをお手伝いさせていただきました

実施期間	2020年10月3日（南相馬市：浮舟文化会館） 2020年10月19日～24日・26日（田村市：グリーンパーク都路）
実績	社員延べ 32人（南相馬市：4人、田村市：28人）



【南相馬市】張り紙設置の様子

内容	<p><b>【南相馬市】 おだか月あかりコンサート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南相馬市からのご依頼により、2016年から「おだか月あかりコンサート」開催に向けたお手伝いを実施（今年は規模を縮小して開催）</li> <li>コロナ禍での開催のため、例年の駐車場誘導に加え、会場全座席の手すりの消毒やソーシャルディスタンス確保のための張り紙設置等、感染防止対策を追加実施</li> </ul>
	<p><b>【田村市】 つながり日和</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田村市では、昨年から実施している「つながり日和」を今年はオンラインイベントとして開催</li> <li>同じく新型コロナの影響で中止となった「都路灯まつり」で使用予定であった「竹灯」約1万本を、つながり日和のコンテンツとして設置・点灯する作業のお手伝いを実施</li> </ul>



【田村市】竹灯準備の様子



【田村市】竹灯点灯の様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 飯舘村・浪江町・川俣町小中学校の開校式・入学式への協力

**実施期間** 2020年 3月29日、4月5日【飯舘村】  
2020年 4月 6日【浪江町】、2020年 4月 7日【川俣町】

**実施場所** 飯舘村、浪江町、川俣町

**実績** 社員 延べ 18人

**内容**

【飯舘村】

- ・ 飯舘村からのご依頼により、新たに開校する「いいたて希望の里学園」開校式の駐車場誘導に協力（4/5）
- ・ 開校式前には飯舘村小・中学校の閉校式が行われ、当日は雪が降り積もる中、除雪作業を行いながら駐車場誘導を実施（3/29）

【浪江町】

- ・ 浪江町からのご依頼により、「浪江町立なみえ創成小・中学校」入学式後の片付けに協力
- ・ 紅白幕や演台・養生マット・椅子等の備品片付けを実施

【川俣町】

- ・ 川俣町からのご依頼により、「川俣町立山木屋小中学校」入学式後の片付けに協力
- ・ ピアノの移動や演台・養生マット等の備品片付けを実施



【飯舘村】  
開校式への協力の様子  
(駐車場誘導)



【浪江町】  
入学式片付けの様子



【川俣町】  
入学式片付けの様子

### 学校施設等からの思い出の品の持ち出しに向けたお手伝い

**実施期間** 2020年 1月23日～8月23日  
(うち11日間)

**実施場所** 双葉町（ふたば幼稚園、  
双葉北小学校、双葉南小学校、  
双葉中学校）

**内容**

- ・ 双葉町では、8月22日・23日に町立の各学校施設等に残されている「子どもたちの思い出の品」を町民の皆さまへ返却する催しが行われた
- ・ 双葉町からのご依頼により、上記の催しに向けたお手伝いとして、今年の1月23日に現地確認や放射線測定を開始し、5月18日から校内の清掃・片付け、8月1日から校舎周辺の除草、清掃後の放射線測定を実施
- ・ 催し当日は来場された町民の皆さまの案内係として、思い出の品のある教室へ誘導を行った



思い出の品の放射線測定  
(清掃後)

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 流通促進活動



#### 「発見！ふくしま」キャンペーン ～至近のイベント状況等～

##### 福島県産品販売会（10月実績）

10月3日から実施している「発見！ふくしま」キャンペーン期間中、首都圏の百貨店・スーパーマーケットや福島県内地元スーパーマーケットにおいて、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ福島県産品の販売会を多数開催

内容

- ・首都圏の小田急百貨店様4店舗（新宿店本館・ハルク、町田店、ふじさわ）では専門店街のテナントと連携し、「発見！ふくしま」パッケージの福島県産新米、福島牛、水産物等を販売。パッケージ米や牛肉は全店で完売した
- ・同新宿店本館・ハルクでは、飲食店13店舗が初参加し、福島県産食材を使用したメニューを提供する等、百貨店全体で一体感のあるフェアを演出。また、対象店舗で飲食されたお客さまを対象に福島県産品プレゼントの引換券を進呈。引換券は100%に近い回収率となり、店舗よりお客さまの反応もよく魅力的な内容との評価をいただいた
- ・販売会の会場モニターで放映した福島県産食材・観光の情報やパンフレットの評判もよく、パンフレットをお持ち帰りになるお客さまも多数見られた
- ・福島県内のスーパーマーケットいちい様やスーパーマート様で開催した販売会においても、店舗の方から「県産品をまとめて扱う、統一感のある催事ができた」「今後も継続したい」などの評価をいただいた



【首都圏】小田急百貨店様販売会  
（新宿店本館・ハルク）



【福島県】  
スーパーマート様販売会



「発見！ふくしま」  
パッケージ米

##### 雑誌「東京カレンダー（11/21発売）」とコラボした飲食店フェア

東京カレンダーとタイアップし、都内などで人気の飲食店9店舗が約1ヶ月間、福島県産食材を使用したメニューを提供するとともに、同雑誌1月号で全8ページにわたりフェアの内容や福島県産品の魅力を伝える記事を掲載

内容

##### 発見！ふくしまお魚まつりby デリバリー & テイクアウト

コロナ禍での巣ごもり需要も踏まえ、都内5箇所を拠点に福島県産の水産物「常盤もの」等を使用したメニュー9品を特設サイトで販売し、ご自宅へお届けする、日本初となるデリバリー & テイクアウトフェス「ジャパンフィッシャーメンズフェスティバル 発見！ふくしまお魚まつりby デリバリー & テイクアウト」を11月26日（木）より5日間開催



東京カレンダー 1月号表紙



特設サイトイメージ



## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 【福島県産食材を使用される飲食店様開店に向けた協力の実施

内容

- 「日本料理 徳」様は2015年にミシュランガイドに掲載されたことがある名店であるが、店主が出身地である福島県の食材で最高の料理を提供したいと、2020年9月3日に「日本料理 徳ふくしま」としてリニューアルオープン
- 当社は、これまでの活動で培ったネットワークを活用し、福島県産食材やお酒の試食・試飲をご提供するとともに、これまでに福島県産食材を扱っていただいた飲食店様と協働して開拓した仕入れルートを、「徳ふくしま」様にご紹介し、採用に至った



徳ふくしま様 提供メニュー  
【昼膳～彩り点心十二種～】

### 「発見！ふくしま」キャンペーン ～届け！ふくしま 秋の味覚～オープニングイベント開催

内容

- 10月3日からの「発見！ふくしま」キャンペーン初日に福島市で開催された「ユナフェス×福島フェス」とタイアップしたオープニングイベントを開催(同フェス会場を福島会場として開催)
- 東京会場(都内スタジオ)等にゲスト(注)を迎え、福島会場と福島県産食材を扱う都内飲食店2店舗をオンラインでつなぎ、その様子をYouTubeで生配信するという、当社としては初めての試みにより実施
- 本イベントでは、キャンペーン内容に加え、しゃくなげ牛や「常磐もの」水産物等、福島県産品のおいしさと生産者様の想いを全国の皆さまにお伝えすることが出来た (YouTubeで再配信も実施)
- 福島会場では、マルシェブースで新鮮な地元野菜などを販売し、賑わいを見せた

(注) 東京会場：お笑いコンビ「たんぽぽ」(メンバーの白鳥さんは福島県出身)、ケイティさん(LINE「ふくしま応援隊」ナビゲーター) 飲食店：吉田類さん(ふくしまの酒マイスター)



東京会場オープニングイベント (都内スタジオ)



福島会場マルシェ  
街なか広場・福島市



キャンペーン特設サイト

### シャインマスカット大福の食材を福島県産品へ変更

内容

- 柿安本店様は、三重県に本社を置く老舗の食品メーカーであるが、当社の福島県産品販売促進活動に強くご賛同いただき、直営の精肉店で数多くの福島牛販売促進会を開催いただいている
- 柿安本店様の和菓子ブランドで全国170店舗を展開する口福堂にて10月2日より期間限定で販売されている「シャインマスカット大福」について、首都圏45店舗分の材料となるシャインマスカットを従来の他県産から福島県産へ切り替えていただいた
- 福島県産品の採用は、今夏のさくらんぼ大福に続き2例目



柿安本店様  
口福堂 シャインマスカット大福

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 飲食店5店舗による福島県産品を使用した弁当や惣菜の販売

- 内容
- 都内の飲食店では、不要不急の外出自粛要請により店内でお食事される機会が大きく減少
  - 店舗以外でも福島県産品を味わっていただく機会をご提供すべく、福島県産品を使用した弁当や惣菜の開発を店舗様に打診
  - 感染の心配から持ち帰りを希望される消費者の皆さまにも大変好評で、5月末までの約2週間に5店舗で約4,000食を販売



酒舗らくだ様（東京都）での「福島牛の焼き肉丼」ほか弁当販売の実施

エリア	店舗名	期間	メニュー
首都圏	酒舗らくだ様	5月18日～継続中	福島牛焼き肉丼 ほか
	日本料理御代川様	5月20日～継続中	福島牛ローストビーフ丼
	CROSS TOKYO様	4月22日～継続中	「ワンダーファーム」トマトと苺のサラダ
	R R R 大手町店様	5月19日～継続中	福島牛のプレザオラ（生ハム）
関西	キャピタル東洋亭様	5月11日～31日	百年洋食ハンバーグ弁当（白河産コシヒカリ使用）、川俣シャモのから揚げ

### 首都圏および福島県内における福島県産品販売会の開催

- 内容
- 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除を受けて、福島県産品の販売会を順次再開し、6月以降7月26日までに首都圏の延べ46店舗で延べ318日間開催
  - 一方、新型コロナウイルスの影響により福島県産品が滞留していること、実施中のキャンペーンアンケートにおいて 福島県内の方から「身近で販売して欲しい」とのお声も頂戴したことを受け、福島県内の流通事業者さまにご相談し、7月23日(木)より2日間にわたりフレスコキクチ様15店舗で福島県産品の販売会を開催



フレスコキクチ様での福島県産品販売会

### 旬を迎えた桃等の福島県産品販売会開催

- 内容
- 旬を迎えた福島県産の桃を中心とした福島県産品の販売会を小田急百貨店様をはじめとした首都圏10店舗において開催
  - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、試食の提供をひかえるとともに販売員がマスクの着用など、対策を徹底したうえで販売を実施
  - 桃については店舗様に積極的にご協力いただき、通常の販売に加えお中元シーズン後ではあるものの、御遣い物として「伊達の蜜桃・匠の思い」の他に店舗様が特秀※の桃から選りすぐり、専用の化粧箱に収めた贈答用の桃をご用意いただき完売
- ※特秀とは桃の最高ランク大きさや色など見た目も美しく、糖度が12度以上のもの



八木橋百貨店様販売会の様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2020年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 「家族で食べよう！福島牛キャンペーン」

- 内容
- ご家族で食卓を囲まれる機会に福島県産品を味わっていただくべく2020年5月28日より「家族で食べよう！福島牛キャンペーン」を実施
  - 本キャンペーンでは、福島牛をはじめとする福島県産品を2,000名様にプレゼントする企画を実施した（6月末締切）が約3.2万人の方からご応募いただき、大好評のうちに終了
  - 「家族で食べよう！福島牛キャンペーン」プレゼント企画第二弾として、1,000名様に福島県内の宿泊施設で福島牛や「常磐もの」の水産品の美味しさを味わっていただく機会（宿泊券進呈）や福島県産品が当たる「おうちでもお宿でも」を2020年8月3日(月)～31日(月)の期間で実施
  - 福島県産品を割引きで購入できる「美味しいふくしま、おトクに買っちゃおう！」については、約7,000点もの商品をご購入いただき、終了予定であった8月31日を待たず、8月24日に大好評のうちに終了

### 「家族で食べよう！福島牛キャンペーン」プレゼント企画第二弾 「おうちでもお宿でも」

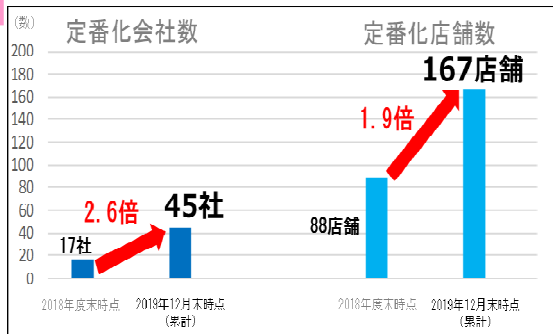


福島県内  
宿泊施設  
10か所



### 福島県産品の定番化の実績売

- 内容
- 小売店・飲食店でのイベントを通じて、多くの消費者の皆さまに福島県産品を購入および味わっていただくことにより、常設棚での福島県産品の取り扱い店舗の拡大や福島県産品を使用したメニューの定番化を推進
  - 「発見！ふくしま」キャンペーン(2019年10月11日～12月20日)を終え、2019年12月末時点で福島県産品を定番化いただいた小売店・飲食店の会社数は45社（前年度末の2.6倍）店舗数は167店舗（同1.9倍）に拡大



### 柿安本店様における福島牛販売会の開催

- 内容
- 日時：2020年3月20日（金・祝）～22日（日）
  - 場所：柿安本店様 6店舗
  - 明治4年創業の老舗 柿安本店様において2月に続き3月も福島牛販売会を開催
  - 柿安本店様は、全国に店舗を展開されていることから、栃木県の東武宇都宮百貨店様など首都圏の5店舗に加え北海道の札幌丸井今井様においても開催
  - 今回紹介されたの6店舗においては、福島牛販売会は初めてであるとともに、北海道、栃木県における「発見！ふくしま」の催事は、今回初開催



札幌丸井今井様での  
福島牛販売会

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

[復興の歩み] ・2019年4月10日 避難指示解除〔大熊町（帰還困難区域を除く）  
・2019年4月20日 Jヴィレッジの全面再開（楡葉町・広野町）

### ■ 除染等推進活動

#### 営農再開に向けた地力回復への協力

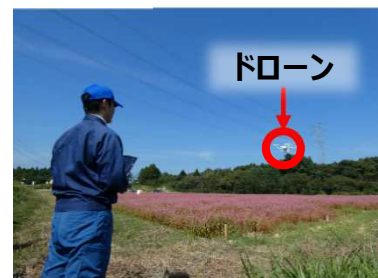
実施期間 2019年7月～

実施場所 大熊町（大川原地区）

#### 内容

大熊町、大熊町農業復興組合様からの要請により、除染後の農地  
保全管理の一環で実施された赤花ソバの緑肥試験栽培(※)へ協力

※緑肥試験栽培とは、肥沃な土地にすることを目的に、緑肥植物を  
栽培し、収穫せずに土と一緒に耕して肥料にする手法の試験栽培



当社社員による  
ドローン操縦の様子

#### 除染効果の維持確認モニタリングについて

実施期間 2017年9月～

実施場所 飯舘村、葛尾村、川内村、川俣町、富岡町、南相馬市

実績 社員 延べ 1,400人(2019年10月末時点)

測定点数 約26,000点(2019年10月末現在)

実施内容 環境省からの要請により、宅地や農地等の除染効果が維持  
されていることを確認するためのモニタリングに協力

#### ■ モニタリングから報告書作成までの流れ

放射線量測定器



通信

タブレットP C



自動  
作成

報告書



【南相馬市】  
農地モニタリング状況

#### 中間貯蔵施設への輸送における協力

実施期間 2015年3月～

実施場所 福島県内全域

実績 社員 延べ約1,100人(2019年度)

#### 内容

- ・仮置場から中間貯蔵施設への輸送ルートについて、事前の現地確認等（道路幅員、トンネル高さ等）を実施
- ・現場監督業務の支援（施工中の状況確認、保管容器の状態確認、保管容器内部の水処理作業確認、保管容器補修方法の実演等）を実施
- ・仮置場を原状回復した後、仮置場跡地の空間線量率の測定を実施



保管容器補修方法の実演

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 畜産再開後の飼養状況確認調査への協力

実施期間 2017年5月～継続実施中（3か月に1回実施）

実施場所 南相馬市、川俣町、飯舘村

実績 社員 延べ125人

内容

- ・「畜産再開前の取り組み」について、福島県等からの要請により、畜産再開に向けて、牛舎の清掃、畜舎内外の空間線量率の測定、飼料や敷料等の放射能濃度の分析を実施
- ・「畜産再開後の取り組み」について、福島県が実施している飼養状況確認調査を通じ、畜舎内外の空間線量率の測定、飼料や敷料等の放射能濃度の分析を実施



牛舎のモニタリング状況



試料の計量・容器詰めの様子

### 分析技術の信頼性向上による地域への協力

実施期間 2015年4月～

実施場所 富岡町（浜通り電力所構内  
浜通り分析所）

内容

- ・地域再生や帰還に伴う放射線不安払拭のため、野菜等の食品に対する放射能濃度分析を（分析所開設以来）継続して実施
- ・国や自治体などが進める復興に向けた事業等において、放射線対策の検討および技術の提案を実施するため、浜通り分析所においてISO17025の認定を取得
- ・ISOの認定により検査結果の信頼性向上を図るとともに、地域の安心・安全に繋がる取り組みを展開



浜通り分析所

主な放射能濃度分析

食品測定

飼料の採取

水の採取

土壌の採取

### 楡葉町「天神原湿原」再生・保全への対応

実施期間 2017年1月～

実施場所 楡葉町

内容

楡葉町「天神原湿原」について、楡葉町と連携し、再生・保全へ向けた取り組みを継続展開

楡葉町と共同で  
報告書の発行  
【2019年5月】



散水（渇水対策）

よし設置（日除け対策）

埋土種子からの  
希少食虫植物の再生試験

止水板（渇水対策）



保全・再生活動（第Ⅱ期）【2018年3月～】 オオミズゴケなどの希少種の保全・湿原乾燥対策

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 大熊IC開通に伴う町道等の自由通行化に向けた対応

実施期間 2019年1月8日～23日 実施場所 大熊町 県道35号～  
国道6号間の町道や県道

内容 内閣府からの要請により、本年3月末の大熊IC開通を控え、同ICから中間貯蔵施設、県道35号までの町道や県道の自由通行化へ向け、自動車で行った際の放射性物質の影響を確認するため、走行・歩行モニタリングによる空間線量率測定、大気浮遊粉じんの採取等を実施



歩行モニタリングの状況

### 富岡町立「にこにこ子ども園」の開園に向けた対応

実施期間 2017年10月 [建物等改修前]、2019年3月 [建物等改修後]

実施場所 富岡町

実績 社員 延べ12人

内容 富岡町から測定依頼を受けた環境再生プラザからの要請により、町立の認定子ども園の開園に向けて、建物等改修工事前・後の空間線量率、表面線量率の測定を実施

※ 環境再生プラザ：福島の世界回復の歩みや放射線、中間貯蔵などの環境再生に関する情報を伝える拠点



砂場での  
空間線量率測定状況



玄関前での  
空間線量率測定状況

### 仮置場の原状回復に向けた対応

実施期間 2018年2月、2019年2月～3月 実施場所 三春町

内容 福島県環境創造センターへの協力として、仮置場の原状回復に向けて、除去土壌等の搬出が完了した場所の空間線量率、表面線量率の測定を実施

※ 環境創造センター：環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点

出典：福島県HP ふくしま復興ステーション  
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/miharu.html>



空間線量率測定状況

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### ■ 復興推進活動

#### 「相馬野馬追」への協力と参加

**実施期間** 2019年 6月21日、7月4日、8日～11日〔除草〕  
7月17日～19日〔道路清掃〕  
7月27日、28日〔会場設営・車両誘導・お行列参加〕  
※2013年から毎年協力・参加

**実施場所** 南相馬市、浪江町



【浪江町】車両誘導の様子

**内容**

- ・南相馬市、小高神社、浪江町からのご依頼により、開催前には相馬小高神社境内の除草や、お行列のルートとなる道路の清掃を実施
- ・当日は小高郷（南相馬市小高区）のお行列に参加の他、標葉郷（浪江町）の神旗争奪戦が行われる中央公園周辺の車両誘導や式典終了後の片付けに協力

#### 「おかえり！なつ祭りinおおくま」への協力と参加

**実施期間** 2019年9月6日 [会場設営：8人]  
9月7日 [駐車場誘導・片付け：11人]

**実施場所** 大熊町（役場前広場）

**実績** 社員 延べ19人が協力 [お祭り参加：約80人]



櫓の組み立て

**内容**

- ・大熊町コミュニティづくり実行委員会の一員として町民の皆さまと一緒に、一部避難指示解除後初めての夏祭りとなる「おかえり！なつ祭りinおおくま」の企画に参画
- ・お祭りの前日は、櫓の組立てやテント設置等の会場設営に協力
- ・当日は駐車場誘導の他、福島第一原子力発電所の職員を中心に約80人が町民の皆さまと一緒に盆踊りやバーベキューに参加
- ・お祭り終了後は実行委員の方々と共に、櫓の撤去や資機材の片付けを実施



バーベキューへの参加

#### 諏訪神社再建に向けた協力

**実施期間** 2019年 8月7日、8日 [荷揚げ]  
10月7日、28日 [除草作業]

**実施場所** 双葉町、浪江町  
※両町にまたがる神社

**内容**

- ・双葉町の両竹行政区からのご依頼により、東日本大震災で倒壊した諏訪神社再建に 向けて、社殿の骨組みとなる柱や梁の荷揚げのお手伝いを実施
- ・10月7日には参道、更に10月28日には完成を控えた社殿周辺の除草に協力



木材の荷揚げ

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への協力

実施期間 2019年3月10日、11日

実施場所 榎葉町・広野町（Jヴィレッジ）

実績 社員 延べ30人

内容 福島県相双地方振興局からの依頼により、福島県内各地で開催された追悼祈念行事のうち、Jヴィレッジでの「キャンドルナイト」において、会場内での来場者誘導および駐車場での車両誘導を実施



キャンドルナイトの様子



来場者誘導の様子

### 帰還困難区域への一時立入り時の協力

実施期間 2011年5月～

実施場所 内閣府からの依頼により、当社が浪江町の3か所〔加倉・津島・高瀬〕のスクリーニング会場の運営に協力

内容

- 住民の方の一時立入り時は、内閣府から委託された会社と協働で対応しており、当社は防護服の配布、立入り後の使用済み防護服の回収、放射線測定等を実施
- 事業者（公益目的）の一時立入り時は、放射線測定等を実施



スクリーニング会場からご自宅へご案内

### お盆・お彼岸に向けた墓地除草作業への協力

実施期間 2013年3月～

実施場所 南相馬市、川俣町、浪江町、葛尾村、双葉町、大熊町、富岡町、榎葉町、広野町

内容

- 市町村等からのご依頼により、2013年3月から9市町村にて継続的に墓地除草を実施
- 毎年年度当初に市町村等と打合せを行い、お盆・お彼岸に合わせ作業を実施
- 墓石周辺は手鎌や剪定ばさみを使用して作業を行い、墓地構内のほか墓地の進入路・駐車場等の共用スペースも除草




【双葉町】墓地構内の除草




## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

双葉町「ダルマ市」への協力	
実施期間	【復興推進活動】2019年1月9日、11日～13日 【イベント】2019年1月12日～13日
実施場所	いわき市（復興公営住宅勿来酒井団地）
実績	社員 延べ76人
内容	夢ふたば人（双葉町町民有志団体）ならびに双葉町からの依頼により、双葉町「ダルマ市」の開催にあたり、会場設営、運営補助ならびに駐車場での車両誘導に協力 イベント当日は、当社ブースも出展させていただき廃炉の進捗状況、復興推進活動の紹介とあわせて現在の双葉町内の様子を撮影した写真を展示




会場設営の様子




当社ブースの様子

川俣町「絹の里やまきやスケートリンク」整備・運営への協力	
実施期間	2018年7月10日～12日、9月3日・7日 除草および片付け 2018年12月12日・14日 スケート靴整備 2019年1月15日～ リンク整備・運営補助 ※2016年1月から毎年実施
実施場所	川俣町 （山木屋地区）
内容	川俣スケートクラブ様からの依頼により、川俣町（山木屋地区）で2016年に再開した「絹の里やまきやスケートリンク」において、水撒き、雪かき等のリンク整備に協力 また、地元小学校の体育（スケート）授業の補助に協力



リンク整備（雪かき）の様子

大熊町会津若松応急仮設住宅の屋根雪下ろしへの協力	
実施期間	2019年2月5日～7日 計3日間 2013年3月から毎年実施
実施場所	会津若松市 （大熊町会津若松応急仮設住宅）
内容	大熊町からの依頼により、仮設住宅屋根の雪下ろしを実施



屋根雪下ろしの様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 流通促進活動



#### 『ふくしままつり』inパング広場

昨年初めて開催し、大変多くの方にご来場いただき好評を得た『ふくしままつり』を、今年も「ふくしま応援企業ネットワーク」、「御徒町駅南口商店会」様と共同で開催

- 日時：2019年11月16日(土)・17日(日) 10:30～16:30
- 場所：御徒町南口駅前広場（おかちまちパング広場）
- 実績：来場者 約1.9万人(2日間計 ※同広場過去最多であった昨年の1.4万人を更新)
- フードコートでは福島県産品を使ったメニュー、ブースでは福島県産品を販売
- 浜通り地域4校(磐城農業高等学校、相馬農業高等学校、平商業高等学校、ふたば未来学園高等学校)の高校生の皆さんが企画・製造した商品を自ら販売し全て完売
- 会場近くの松坂屋上野店様と連携した『ふくしまフェア』では、鮮魚の販売も実施



『ふくしままつり』inパング広場



浜通り地域の高校生によるブース出店



『ふくしまフェア』(鮮魚店)

#### LINE 友だち登録数100万人到達

- 福島ファンのネットワークであるLINE「ふくしま応援隊」の友だち登録数が目標の100万人に到達(12/24時点 約106万人)
- ふくしまのファンとなっていただいた消費者の皆さまに、福島県産品販売イベント情報や友だち限定のお得情報など、今後も魅力ある福島に関する情報を発信していく



I D検索 (@glw2362m)

LINE「ふくしま応援隊」

#### 食べて実感 福島牛グルメフェアを展開

- 期間：2019年10月1日(火)～11月30日(土)
  - 場所：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県 38店舗
  - 実績：昨年度の飲食店フェアを大幅に上回る店舗で集中的に福島牛を扱ったメニューを提供し、目標の約5,000食を超える約9,300食の福島牛メニューを販売
- 店舗では、「発見! ふくしま」の「のぼり」を設置していただくとともに、店員の皆さまが積極的に福島牛メニューおすすめしていただいたこともあり、多くの皆さまに福島牛の美味しさを味わっていただいた



福島牛グルメフェアの様子(摩天楼様)

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 「発見！ふくしま」キャンペーンの取り組み

#### 【キャンペーン概要】

2018年度に引き続き、今年度も「発見！ふくしま」キャンペーンを実施  
今年度は、「食べて実感、ふくしまの秋」と題し、新米時期に合わせて10月11日から12月20日までの約2か月間に集中して小売店での試食販売会や飲食店でのグルメフェアを開催し、首都圏の皆さまに福島県産品の美味しさや魅力をお伝えする

- 期 間： 2019年10月11日(金)～12月20日(金) (71日間)
- 場 所： 東京都を中心とした首都圏の小売店、飲食店等
- キャンペーン的主要取り組み
  - 小売店で試食販売促進イベントを開催し、約2万人の消費者の皆さまに「美味しい体験」を提供
  - 飲食店でグルメフェアを開催し、約5,000食の福島牛メニューを販売
  - 福島ファンのネットワークであるLINE「ふくしま応援隊」の友だち登録数を100万人へ拡大



東武百貨店様池袋店での福島県産新米試食販売会の様子

#### 【「食べて実感 福島牛グルメフェア」・「産地見学会」の開催】

2019年10月1日から11月30日まで「食べて実感 福島牛グルメフェア」を開催  
首都圏の多くの皆さまに、風味豊かでまろやかな味わいの福島牛を味わっていただく機会をご提供する(参加店舗 2018年度：13店舗⇒2019年度：38店舗)  
グルメフェアの開催に先立ち、参加店舗の皆さまに福島牛への理解を深めていただくため、産地見学会をJA全農福島様のご協力のもとで2度にわたり開催

内容

#### 「食べて実感 福島牛グルメフェア」

- 期 間： 2019年10月1日(火)～11月30日(土) (61日間)
- 場 所： 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の38店舗
- グルメフェアの内容
  - 日頃から黒毛和牛を扱う飲食店への働きかけにより福島牛メニューを扱うグルメフェアとして開催
  - グルメサイトRettyに特設ページを設け、グルメフェアを特集、ご案内

#### 「産地見学会」

- 期 間：【第1回】2019年6月25日(火)  
【第2回】2019年9月15日(日)
- 場 所： 福島県農業総合センター畜産研究所(福島県郡山市)  
(株)美土里耕産(福島県大玉村)  
JA全農福島直営店「福島牛焼肉 牛豊」(福島県郡山市)
- 実施内容： 福島牛検査・肥育状況視察、福島牛試食会



「Retty」特設サイト



福島牛産地見学会の様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2019年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 福島県産品の流通拡大に向けた取り組み（観光・ビジネス客層向け）ご紹介

- 内容
- ＜ふくしまのお酒の常設販売（新規開拓）＞
  - 2018年4月～6月にかけて、東京国際空港ターミナル株式会社（TIAT）様、福島県酒造協同組合の蔵元様のご協力を得て、羽田空港国際線旅客ターミナル免税店で「ふくしまのお酒」に限定した「福の酒」特別試飲キャンペーンを実施（2018年4月お知らせ済み）
  - 同キャンペーンの反響・成果を踏まえ、TIAT様は同ターミナル内の免税店での常設販売を決定。2019年1月より「ふくしまのお酒」10銘柄が初めてとなる常設棚での販売開始



羽田空港免税店で「ふくしまのお酒」特別試飲キャンペーン（2018年4～6月）

### ふくしま応援企業ネットワークの取り組み

- 内容
- 「ふくしま応援企業ネットワーク」では、会員企業において、福島マルシェの開催や社員食堂で福島県食材の利用を推進し、福島県産品や観光の風評被害払拭に向けた活動の輪を広げている
  - 河村電器産業様(本社：愛知県瀬戸市)は、昨年10月に福島マルシェを開催されるとともに、「ふくしま応援企業ネットワーク」に参画。今年5月には、全国5カ所ある全ての社員食堂で福島県産米への切替を実施された



福島県産米を使った社員食堂の昼食

切替時期	社員食堂のある工場	使用されているお米
2019年4月	①本地第一・第二工場(愛知県) ②水俣工場(熊本県)	中通り産「コシヒカリ」
2019年5月	③札幌工場(北海道), ④つくば工場(茨城県), ⑤暁工場(愛知県)	浜通り産「ひとめぼれ」(富岡町、楡葉町)

河村電器産業様は、愛知県の老舗電器メーカーで1919年の創業以来、一貫して電気を安全・安心に供給する受配電機器の製造に取り組んでいる

### 福島県産の桃 試食販売会の継続開催

- 内容
- 福島県のフルーツを代表する桃の試食販売会を開催し、7月以降の販売会全体で、約9トン（10玉2.3kgの箱換算で3,900箱）を販売
  - 首都圏での販売会と比較して、1日当たり約3倍を売り上げる好調な売れ行き※
  - 首都圏の消費者の皆さまに大変ご満足いただき、開催企業からも好評を得て、今後のイベントも検討  
※イベント運営会社へのヒアリングより



試食販売会の様子  
【東武百貨店様 船橋店】

開催場所	開催日	福島県産品の販売内容
東武百貨店様 船橋店	2019年8月15日(木)～20日(火)	「桃」の試食販売会
東武百貨店様 池袋店	2019年8月16日(金)・17日(土)	「桃・天栄米」の試食販売会
八木橋百貨店様	2019年8月17日(土)・18日(日)	「桃・天栄米」の試食販売会
九州屋様 西船橋店	2019年8月22日(木)・23日(金)	「桃・天のつぶ」の試食販売会
九州屋様 航空公園店 秋津店	2019年8月29日(木)・30日(金)	「桃・天のつぶ・福島県産牛」の試食販売会

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### [復興の歩み]・2018年3月19日 面的除染完了（帰還困難区域を除く）

#### ■ 除染等推進活動

##### 特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」の開館への協力

実施期間 2017年7月～

実施場所 富岡町

- 内容
- ・ 特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」(環境省)の施設設置にあたり、運営委員会等を通じて、企画・立案に協力
  - ・ モニタリングを体験できる放射線測定体験プログラム、放射線の可視化実験プログラム等の作成にあたり、環境省・運営関係者を対象とした各種測定技術の実演等を実施
  - ・ 同館のイベント（8月26日）において、ガンマ線量の分布を可視化できるコンプトンカメラを活用した放射線測定のデモンストレーションを実施



放射線測定技術実演

##### 超音波発信機を搭載したドローンによる新たなイノシシ対策実証試験

実施期間 2018年9月20日、10月3日

実施場所 浪江町 両竹地区

内容 超音波発信機を搭載したドローンでイノシシに接近し、超音波がイノシシを追い払う効果があるかを検証

試験結果 超音波を発信しているドローンの接近によりイノシシが逃げ出すなど一定の効果を確認。引き続き、超音波の効果検証とドローンによるイノシシへのアプローチ手法等、効果的な追い払い方法について検討要



上空からイノシシに接近した状況

##### 特定復興再生拠点区域におけるモニタリング等への対応

実施期間 2018年8月～

実施場所 双葉町（双葉駅）、大熊町（大野駅）、富岡町（夜ノ森駅）

実績 社員 延べ191人(2018年12月10日時点)

内容 内閣府からの依頼により、特定復興再生拠点区域におけるJR常磐線3駅周辺の避難指示解除に向けて、モニタリング等を実施（JAEAと協同で対応）

- ① 歩行モニタリングによる駅周辺での空間線量率測定
- ② 走行・歩行による駅周辺での放射性物質の付着調査
- ③ 公共施設での残置物の表面汚染密度測定
- ④ 内部被ばく評価のための駅周辺での大気浮遊粉じん採取



【双葉町】放射性物質の付着調査



【富岡町】残置物の表面汚染密度測定

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 仮置場の原状回復に向けた対応

実施期間 2017年8月29日～

実施場所 楡葉町、浪江町、  
飯館村、大熊町



表土中の放射性物質濃度の測定状況

内容

環境省からの要請により、除去土壌等の搬出が完了した仮置場の原状回復に向け、仮置場跡地の空間線量率や表面汚染密度、表土中の放射性物質濃度の測定等に協力

### Jヴィレッジ一部再開に向けたモニタリング等への対応

実施期間 【モニタリング】2018年1月～  
【芝の苗植え】2018年5月16日

実施場所 楡葉町、広野町



天然芝ピッチでの空間線量率測定

実績

【モニタリング】社員 延べ32人（2018年5月18日時点）  
【芝の苗植え】社員 70人

内容

2018年7月28日の一部営業再開に向けて、空間線量率と放射性物質濃度を測定したほか、「芝生広場」における芝の苗植えも実施

【モニタリング実施箇所】約300箇所

空間線量率測定：天然芝ピッチ、人工芝ピッチ、観客席、  
Jヴィレッジ建物内（客室等）

測定結果：歩行モニタリング・・・0.03～0.13 $\mu$ Sv/h（平均：0.07 $\mu$ Sv/h）

定点モニタリング・・・0.06～0.25 $\mu$ Sv/h

放射性物質濃度測定：天然芝ピッチ、人工芝ピッチ

分析結果：未検出～68Bq/kg



「芝生広場」の芝の苗植え

### 簡易放射能濃度評価手法の開発について（環境放射能除染研究発表会で発表）

研究テーマ 有機廃棄物の効率的な放射性Cs放射能濃度評価手法の検討

研究概要

有機廃棄物（主に草木類）の放射能濃度を評価するには、サンプルを採取後、分析施設へ試料を持ち帰るため時間と労力を要していたが、今回の研究テーマでは、現場で簡易に放射能濃度の目安を評価できる手法を考案

期待できる効果

現場での簡易放射能濃度の評価により、迅速な有機廃棄物の状況把握や処分方法の検討に寄与



一定サイズの箱に有機廃棄物を詰め表面線量率を測定

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

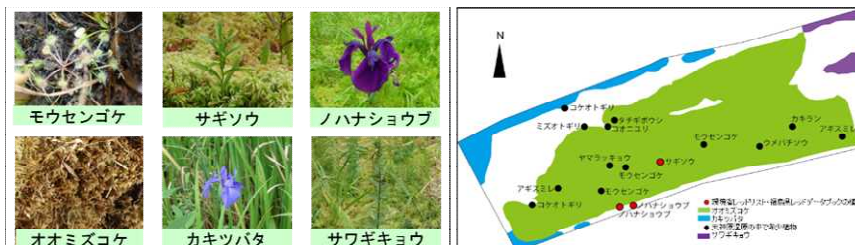
### 楡葉町「天神原湿原」再生・保全への対応

- 内容
- 2017年1月に楡葉町から要請をいただき、震災以降荒廃した「天神原湿原」の再生に向けて、当社が尾瀬等の自然保護活動で培った湿原の再生・保全の知見を活かし、2017年3月より、湿原の調査（植生・水位・水質）や環境整備（雑草・雑木の除去）等を実施
  - 植生調査の結果、モウセンゴケやサギソウ等の希少植物50科141種（2017年10月時点）の生息を確認
  - 2018年2月21日、楡葉町と湿原の保全・管理・活用に関する協定を締結。当社のノウハウを活用し天神原湿原の再生・保全活動を推進

#### 1. これまでの再生・保全の取り組み内容



#### 2. 生息が確認された希少植物・生息マップ



#### 3. 協定の概要

- 楡葉町と当社は、天神原湿原の再生、保全、管理、活用に向けた相互連携の強化を目的に協定を締結
- 当社は、環境に関する専門的知見の提供や保全活動等への人的協力を行い、天神原湿原の再生を通じて自然と共生する社会の実現を図る

### 除染後のモニタリングへの対応

実施期間 2017年11月27日～

実施場所 棚倉町

内容

棚倉町からの要請により、住宅・事務所・公共施設等（120軒）において、除染後のモニタリングへの対応



モニタリングの状況  
(集会所)

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### ■ 復興推進活動

#### 「麓山の火祭り」への協力と参加

実施期間 【行事】2018年8月15日  
【復興推進活動】2018年8月4日、11日、12日、15日、16日

実施場所 富岡町

実績 社員 延べ52人（[事前準備・設営] 41人 [行事] 11人）

内容 富岡町で8年ぶりに開催された「麓山の火祭り」において、山道整備、たいまつ作りなどの事前準備および当日の設営に協力。また、たいまつ  
の担ぎ手としても参加



行事の様子



たいまつ作りの様子

#### 「第2回とみおか復興ロードレース大会」への協力

実施期間 2018年9月30日

実施場所 富岡町

内容 一般社団法人富岡町さくらスポーツクラブからの依頼により、「第2回  
とみおか復興ロードレース大会」の開催にあたり、駐車場での車両誘導、  
会場（コース）設営・片付けおよびレース中のコース誘導・給水等の  
運営補助を実施



コース誘導の様子

#### 「葛尾村 酪農再開へ向けた牛舎の清掃」への協力

実施期間 2018年8月3日、4日、16日、  
29日、30日、10月12日、15日

実施場所 葛尾村

内容 葛尾村からの依頼により、村内での酪農再開へ向け『佐久間牧場』様  
の牛舎・搾乳所の清掃および風雨よけのシート張りを実施



シート張りの様子

#### 浪江町 鳥獣侵入防止柵設置への協力

実施期間 2018年11月30日

実施場所 浪江町

内容

- 浪江町からの依頼により、鳥獣侵入防止柵(ネットフェンス)の設置  
作業に協力
- 約1haの農地に総延長約400mの柵を設置



設置作業の様子



## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

<b>大熊町立大野小学校「思い出の品持ち出し」への協力</b>		 <p>持ち出し品放射線量測定の様子</p>	
実施期間	【事前測定・清掃・会場設営】 2018年2月15日、22日 【持ち出し】2018年3月2日～4日		実施場所 大熊町
内容	大熊町立大野小学校での「思い出の品持ち出し」にあたり、教室等の事前放射線量測定、清掃、会場設営ならびに持ち出し品の放射線量測定を実施		
<b>「ここなら笑店街オープニングセレモニー&amp;イベント」への協力</b>		 <p>車両誘導の様子</p>	
実施期間	2018年6月25日、26日、30日、7月1日		実施場所 楡葉町
内容	楡葉町からの要請により、笑ふるタウンならは内にオープンした『ここなら笑店街』のオープニングセレモニー&イベントにおいて、駐車場での車両誘導に協力		
<b>「いいたてスポーツ公園オープニングイベント」への協力 サッカーイベントの開催（飯館村との共同開催）</b>		 <p>会場設営の様子</p>	
実施期間	【イベント】2018年8月12日 【復興推進活動】2018年8月10日、12日		実施場所 飯館村
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018年4月に再開した小中学校や認定こども園の隣接地に整備された「いいたてスポーツ公園」のオープニングイベント開催にあたり、会場設営および駐車場での車両誘導を実施</li> <li>共同開催によるサッカーイベントにおいて、当社サッカー部OBを中心としたチームと村の有志チームとの交流試合を実施</li> </ul>		
<b>J ヴィレッジ「再始動記念式典&amp;オープニングイベント」への協力</b>		 <p>会場設営の様子</p>  <p>シャトルバス案内補助の様子</p>	
実施期間	【イベント】2018年7月28日、29日 【復興推進活動】2018年7月26日、28日		
実施場所	楡葉町・広野町		
実績	社員 延べ20人		
内容	7年ぶりに再開したJ ヴィレッジの「再始動記念式典&オープニングイベント」開催にあたり、会場設営およびシャトルバスの案内補助等を実施		

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 葛尾村立葛尾小学校の村内再開に向けた協力

実施期間 2017年12月6日

実施場所 葛尾村

内容

葛尾村教育委員会からの要請により、2018年4月の村内での再開に向け、荷物の搬出および片付けを実施



搬出作業の様子

### 学校再開に向けた協力

実施期間 2017年4月～2018年3月

実施場所 富岡町、浪江町、葛尾村、川俣町、飯舘村

実績 社員延べ600人

内容

各町村内での認定こども園や小中学校の再開に向け、清掃・片付け、除草、荷物運搬および関係式典等における駐車場での車両誘導に協力



【川俣町】荷物運搬の様子



【浪江町】清掃の様子

### 「なの花めいろ」への協力

実施期間

【イベント】  
2018年4月28日～30日、5月3日～6日  
【復興推進活動】2018年4月21日、22日、  
28日～30日、5月3日～5月6日

実施場所 南相馬市

内容

「なの花めいろ」の開催にあたり、約2.3ヘクタールの迷路づくり（設計図をもとに、菜の花を1本ずつ抜き取り）および駐車場での車両誘導に協力



迷路づくりの様子

### 特定復興再生拠点区域における屋内片付け・物品持ち出しへの協力

実施期間

【大熊町】2018年2月～  
【双葉町】2018年6月～

実施場所

大熊町、双葉町の  
特定復興再生拠点区域

内容

環境省からの要請により、特定復興再生拠点区域における家屋の除染・解体にあたり、町民の方が実施する屋内片付けおよび物品持ち出しに協力



片付け・物品持ち出しの様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 流通促進活動



#### LINEにより福島を応援

内容

消費者の皆さまに直接、福島県産品販売イベントや福島県産品を使ったレシピ動画等の情報をお届けするため、友だちの拡大と情報発信を実施

ふくしま応援隊

LINE

ID検索 (@glw2362m)



情報発信イメージ

#### ふくしままつりinパンダ広場の開催

内容

<ふくしま応援企業ネットワークと御徒町駅南口商店会様との共催>

日時：2018年11月10日（土）～11日（日）10：00～16：00

場所：御徒町南口駅前広場（パンダ広場）

実績：来場者 約1.4万人（2日間）

- 福島県産品（野菜、果物、加工品、酒など約60品目）の販売やフードコート（なみえ焼きそば、福島牛串焼きなど約10種類）のいずれも完売
- 松坂屋上野店様とのコラボ企画「ふくしまフェア」も盛況
- 連動企画により、「ふくしままつりinパンダ広場」から約3千人来店
- 福島県産品約20品目を販売し、お米をはじめエゴマ豚、伊達鶏、トマトなどが完売



会場の様子



福島牛串焼き販売の様子



ふくしまフェア（松坂屋上野店様）販売会の様子

#### 福島の現状や魅力を情報発信

内容

- 生産者様の言葉で福島の現状をお伝えする雑誌記事を掲載（レタスクラブ、サンキュ!、ESSE等）
- コンテンツサイトの「antenna」と連携して福島の魅力をお届けする動画を作成。動画はキャンペーンの特設サイトで公開



雑誌：ESSE 12月号

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2018年公表～

※ 各取り組み内容について、太枠(□)は詳細、細枠(□)は省略した記載

### 品川駅構内での福島県産品販売会開催

#### 「イベント概要」

【開催日時】2018年9月14日（金）10：30～20：00  
2018年9月15日（土）11：00～19：00

【場 所】 J R品川駅 中央改札内（駅構内）

【販売商品】 福島県のお米、野菜、果物、加工品、日本酒 等  
（合計約80品目）

【当社対応】 2日間で延べ45人

【出 店 者】 東西しらかわ農業協同組合様 等

【実 績】 イベント期間での購入者数 約1,500人



販売会の様子

### 福島県産品販売会の開催

#### 内容

- 百貨店やスーパーにおいて福島県産品の魅力と美味しさを伝える試食販売会を展開
- イベントで販売した新米は全店舗合計で700kg超を完売
- ご協力いただいた店舗では、福島県産の新米の販売を常設化

開催場所	開催日	開催内容	お米の販売実績
クイーンズ伊勢丹様（笹塚店）	9月29・30日	新米「ミルキークイーン」の試食販売会	完売
京王ストア様（桜ヶ丘店、高幡店）	9月29・30日	新米「五百川」の試食販売会	完売
東急百貨店様（たまプラーザ店）	10月18・19・22・23日	新米「天栄米」の試食販売会	完売



クイーンズ伊勢丹様での販売会



京王ストア様での販売会



東急百貨店様での販売会

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2017年公表～

- [復興の歩み] ・2017年3月31日 避難指示解除〔川俣町山木屋〕  
 ・2017年3月31日 避難指示解除〔飯舘村・浪江町(帰還困難区域を除く)〕  
 ・2017年4月1日 避難指示解除〔富岡町(帰還困難区域を除く)〕  
 ・2017年12月25日 特定復興再生拠点区域で最初の除染工事(双葉町)

### ■ 除染等推進活動

#### ご帰還後の安心に向けた施策への対応

実施期間 2016年9月～

実施場所 富岡町、浪江町、  
川俣町、飯舘村



【浪江町】線量確認状況

内容 環境省からの要請により、今春新たに避難指示が解除された4町村(帰還困難区域を除く)において、住民の方々のご不安に思われる箇所の線量確認や土壌等除去を実施

#### J R常磐線(富岡駅～竜田駅間)の運転再開に向けた対応

実施期間 2017年8月23日、9月15日  
(10月21日運転再開)

実施場所 J R常磐線 富岡駅～  
竜田駅間 6.9km



線路上モニタリングの状況

内容 内閣府原子力災害対策本部からの要請により、J R常磐線(富岡駅～竜田駅間)の運転再開に向け、同区間の線路上および列車内でのモニタリングを実施

#### 川俣町山木屋地区における養鶏再開に向けたモニタリング対応

実施期間 2017年7月～

実施場所 川俣町山木屋地区



鶏舎周辺でのモニタリングの様子

内容 福島県県北農林事務所からの要請により、川俣町山木屋地区にある3つの養鶏場において、鶏舎周辺の放射線量や井戸水の放射能濃度の測定・分析等、養鶏再開に向けたモニタリングを実施

#### 学校再開に向けたモニタリングへの対応

実施期間 2016年10月～2017年11月

実施場所 川俣町、富岡町、浪江町、  
葛尾村、飯舘村



こども園周辺のモニタリング状況

内容 環境省からの要請により、2018年4月からの学校再開に向けて、校舎内・施設周辺等の空間線量率測定やプールの水質調査・分析等を実施

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2017年公表～

### 学校開校に向けたモニタリングへの対応

実施期間 2016年10月24日～12月12日 実施場所 南相馬市小高区

内容 環境省からの要請により、「福島県立小高産業技術高等学校」の2017年4月の開校に向け、学校生活に関わる箇所（学校敷地や小高駅前周辺等）のモニタリングを実施



モニタリング状況（小高駅前周辺）

### 楢葉町における酪農再開に向けたモニタリングへの対応

実施期間 2015年10月～ 実施場所 楢葉町

内容 福島県農業総合センター畜産研究所からの協力依頼により、楢葉町での酪農の再開に向け、牛の飼育環境における牛舎等の放射線量や飼料等の放射能濃度の測定及び牧場主さまのご不安に応じた調査等を実施



牛舎内のモニタリング状況

### 「川内の郷かえるマラソン」開催に向けたモニタリングへの対応

実施期間 2017年 3月24日、31日  
(マラソン開催日4月30日) 実施場所 川内村

内容 川内村からの要請により、「第2回川内の郷かえるマラソン」の開催に向け、各マラソンコースにおける個人線量計による線量および、歩行モニタリングによる空間線量率を測定



歩行モニタリングの状況

### 除去土壌等の輸送量拡大に向けた対応

実施期間 2016年4月～ 実施場所 福島県内全域

内容 環境省からの要請による、仮置場から中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送量拡大に向けた、技術検討・展開実態調査※  
※運搬時の遮水対策や保管容器への効率的な収納方法など



保管容器内収納状態の確認

### 「ツール・ド・かつらお」開催に向けたモニタリングへの対応

実施期間 2017年5月19日～24日 実施場所 葛尾村

内容 葛尾村からの要請による、避難指示解除1周年を記念した「ツール・ド・かつらお」の開催に向けた、村内30.8kmの個人線量測定



自転車による個人線量測定状況

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2017年公表～

### ■ 復興推進活動

#### 川俣町立 山木屋小・中学校における荷物の搬出

実施期間 2017年4月24日、26日、27日、5月1日、18日

実施場所 川俣町立  
山木屋小・中学校

内容 川俣町からの要請により、来春開校予定の小中一貫校の整備工事開始を前に、山木屋小学校および中学校から荷物を搬出



搬出作業の様子

#### 「いいたて村の道の駅までい館」オープニングイベントの支援

実施期間 【復興推進活動】2017年8月10日～13日、19日

実施場所 飯舘村

【イベント】2017年8月11日、12日、19日

内容 飯舘村からの要請により、「いいたて村の道の駅までい館」におけるオープニングイベントの会場設営・片付けおよび駐車場での車両誘導を実施



駐車場での車両誘導の様子

#### 「第15回川俣シャモまつりin川俣」の支援

実施期間 【復興推進活動】2017年8月25日～27日

実施場所 川俣町

【イベント】2017年8月26日、27日

内容 川俣町からの要請により、「第15回川俣シャモまつりin川俣」の開催に向けた会場設営・片付けならびにイベントを支援



シャモ調理の様子

#### 「つながっぺ山木屋フェスティバル2017」の支援

実施期間 【復興推進活動】2017年9月1日～3日

実施場所 川俣町

【イベント】2017年9月3日

内容 川俣町山木屋地区自治会からの要請により、「つながっぺ山木屋フェスティバル2017」の開催に向けた会場設営・片付けならびに駐車場での車両誘導を支援



会場設営の様子

#### 「なみえ復興祭」への協力

実施期間 【復興推進活動】2017年10月6日～7日

実施場所 浪江町

【イベント】2017年10月7日

内容 浪江町大野台仮設第8自治会からの要請により、「なみえ復興祭」の開催にあたり、会場設営・片付けならびに駐車場での車両誘導に協力



会場設営の様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2017年公表～

### 第3回広野“ふる里ふれあい”マラソンの会場設営ならびに運営補助

実施期間	2017年1月27日（準備）、 29日（イベント当日）	実施場所	県道広野小高線（浅見川 河口付近）及び広野町内
内容	広野町からの要請により、広野“ふる里ふれあい”マラソンへの支援（会場設営、選手誘導、ブース支援、会場片付け）を実施		



駐車場のライン引きの様子

### 富岡町役場 本庁舎での業務再開に向けた移転作業支援

実施期間	2017年3月3日	実施場所	富岡町
内容	3月6日の本庁舎での業務再開にともなう、仮執務室（隣接の保健センター）から本庁舎への移転作業を支援		



書類整理の様子

### 避難指示解除に伴う記念式典の運営補助

実施期間	飯舘村 2017年3月30日、31日 富岡町 2017年4月8日	実施場所	飯舘村、富岡町
内容	飯舘村、富岡町からの要請により、避難指示解除に伴う式典等の会場設営・駐車場誘導等の運営を補助		



【飯舘村】式典前打合せの様子

### 楢葉町立楢葉小中学校再開に伴う支援

実施期間	2017年3月28日、29日、 4月4日、5日	実施場所	楢葉町、いわき市
内容	楢葉町教育委員会からの要請により、4月からの学校再開に向け、いわき市内の仮設校舎から楢葉町内の新校舎への移転に伴う荷物運搬および入学式の準備・清掃等を支援		



什器搬出の様子

### 「ならはならではごみ拾い」への参加

実施期間	2017年6月4日	実施場所	楢葉町
内容	楢葉町からの要請による、平成29年度「ならはならではごみ拾い」における町内のごみ拾いと花の苗の植え付け		



ごみ拾いの様子



## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2017年以前～

### 流通促進活動

[当社動向]・2018年2月 福島流通促進室を設置

#### 福島応援企業ネットワークの取り組み

設立日 2014年11月18日 設立

会長 畠澤 守 様 東芝エネルギーシステムズ株式会社  
代表取締役社長

構成 福島で廃炉作業等に携わり地域の実情を理解されている  
大手企業10社と当社で発足

内容

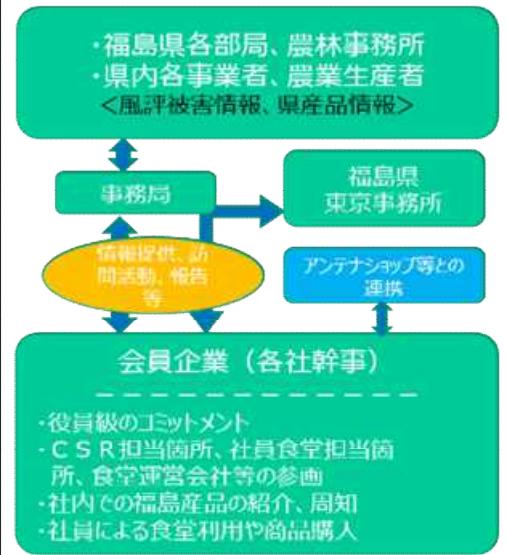
- ・福島県産品や観光の風評払拭に向けた活動の輪を広げ、その活動の定着を図ることを目的に活動を展開
- ・会員各企業がそれぞれ創意工夫をしながら福島を応援
  - ・福島県産品の購入促進※
  - ・福島県内の観光や会議施設の利用促進
  - ・福島県産品の安全性について現地視察研修
  - ・各企業が実施している活動事例の紹介と共有

※ 社員食堂での食材利用、社内販売会（産直市）等

会員企業【159社】2021年2月末時点



#### 活動イメージ



#### 〔2019年度実績〕

- 社員食堂での福島県産品の購入促進  
県産米消費量 681トン  
特別メニュー提供 約192,000食
- 企業マルシェの開催（産直市）  
開催回数 212回  
売上金額 約12,800万円
- 贈答品、記念品での福島県産品の普及拡大  
購入金額 約1,860万円

#### 福島県産品の社内販売会

実施日 2011年11月～ 実施場所 本社および各事業所

内容 社員が福島県産品を購入する機会を定期的に設け、一人ひとりが福島復興への思いを確認する機会とするため、本社や事業所において社内販売会を実施

実績 延べ922回開催（2020年12月末時点）



東京電力HD  
本社販売会



東京電力EP  
事業所販売会

#### 福島県産品販売促進活動（社外）

実施日 2013年9月～ 実施場所 各社事業所・外部の催事場等

内容

- ・関連会社からのご提案を頂き2013年に開始
- ・企業主催の社内販売会や夏祭り・イベントへの出店や販売サポートを実施

実績 46社等 延べ131日間開催（2020年12月末時点）



関連会社の社内販売会



東京近郊の駅構内で  
福島県産品販売イベント

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2016年公表～

- [復興の歩み] ・2016年6月12日 避難指示解除〔葛尾村（帰還困難区域を除く）〕  
 ・2016年6月14日 避難指示解除〔川内村の一部〕  
 ・2016年7月12日 避難指示解除〔南相馬市（帰還困難区域を除く）〕

### ■ 除染等推進活動

#### ご帰還後の安心に向けた施策への対応

実施期間 2015年5月～

実施場所 南相馬市、川内村、  
葛尾村、楡葉町

内容

環境省からの要請により、楡葉町に加えて、新たに避難指示が解除された南相馬市・川内村・葛尾村において、住民の方々がご不安に思われる箇所の現地調査や土壌除去等を同省と連携し実施中



土壌除去状況（楡葉町）

#### 高校生のベラルーシ共和国訪問時の個人線量計測等への協力

実施期間 2016年7月11日～11月26日

内容

「日本・ベラルーシ友好訪問団2016」に参加された福島県浜通りの高校生(20名程度)の皆さまの、ベラルーシ共和国訪問時の個人線量計測の支援を実施。渡航時および現地活動時の計測データに基づく個人線量マップの作成や、視察報告会※における技術サポートを実施  
 ※ 国際フォーラム『被災地から考える』  
 「30年後の故郷に贈る福島県浜通り高校生ベラルーシ共和国視察報告」



事前打合せ(技術サポート)状況

#### 帰還困難区域等を対象とした詳細モニタリングへの対応

実施期間 2016年7月20日～10月4日

実施場所 双葉町、富岡町、大熊町、  
楡葉町、南相馬市、飯舘村、  
浪江町、葛尾村

内容

原子力規制委員会原子力規制庁からの協力依頼により、復興拠点予定地等の自治体要望箇所について、詳細モニタリングを実施。今後の住民の皆さまのご帰還に資するデータの充実のため、自動車および歩行モニタリング装置を活用し、約300km（自動車約282km、歩行約18km）に亘る区間の空間線量率の測定を実施



モニタリング打合せ状況

#### 除去土壌等の輸送に係る講習会への対応

実施期間 2016年5月～

実施場所 福島県内

内容

環境省からの要請により、除去土壌等の輸送を安全かつ円滑に実施するため、仮置場の解体・輸送業務監督員等への講習会に対応



講習会(机上)の状況

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2016年公表～

### 避難指示区域内残置自動車への対応

実施期間 2013年9月～ 実施場所 富岡町、楡葉町、浪江町、大熊町

内容

環境省からの要請により、公道および公共施設に残された自動車の実態調査を、富岡町、楡葉町、浪江町、大熊町で順次実施。  
また、当社に賠償請求中および賠償済みの残置自動車※について、撤去・処分に関するご意向確認の案内文書を所有者さまに発送  
※公道・公共施設・ご自宅等にやむを得ず残された自動車が対象



現地調査状況

### 個人線量計およびGPSを活用した「個人線量マップ作製ソフト」の開発

概要

- 空間線量率ではなく、「個人線量ベース」のマップ作製を容易に可能\*1とするソフトウェアを独自開発
  - \*1 当ソフトのご利用には、汎用品の個人線量計\*2とGPS端末が必要となります
  - \*2 高精度な線量マップ作成には、高頻度(1分単位)で計測可能な個人線量計を推奨(富士電機製DOSEe-nano等)
- 以下機能を備えたソフトウェアの開発は国内初(当社調べ)
  - ✓ 個人線量を行動に沿ってマッピング(線量レベルを色で表示)
  - ✓ 移動時あるいは滞在箇所を自動判別し、その個人線量を地図上に表示
- Googleマップ上にも視覚的に表示可能



個人線量マップイメージ

### 滞留牛ふん堆肥の流通回復への協力

実施期間 2013年5月23日(初回運搬)～2016年6月末

内容

暫定許容値(400Bq/kg)以下の滞留堆肥の流通を促進させるため、県及び地元自治体等が、各地域の滞留堆肥供給者と受け入れ先とのマッチングの調整を行い、当社が堆肥の運搬・散布作業の手配を実施

実績

- 県内17の地域協議会等と実施協定を締結し、各地域で実施。
- 最終的な滞留解消量は、延べ約10万2千トン。  
これは約5千ヘクタール※の畑への散布に相当(東京ドーム1,091個分)  
※1トンの堆肥の散布面積を5アールとして算出



堆肥散布の状況

### J R常磐線の運転再開に向けたモニタリング

実施期間 2016年2月9日、6月10日 実施場所 J R常磐線 原ノ町駅～小高駅間 9.4km

内容

内閣府原子力災害対策本部からの要請により、J R常磐線(原ノ町駅～小高駅間)の運転再開に向け、同区間を走行する線路上及び列車内でのモニタリングを実施。列車内の測定においては、立っている状態や、シートに座った状態を模擬し、各々の位置で計測を行い、測定結果を報告



列車内モニタリング状況

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2016年公表～

### ■ 復興推進活動

#### 飯舘村役場の機能移転

実施期間 2016年6月25日 実施場所 福島市飯野町（仮庁舎）および飯舘村（本庁舎）

内容 飯舘村よりご要請いただき、福島市飯野町の仮庁舎から飯舘村役場（本庁舎）への機能移転（荷物の搬出ならびに搬入）を飯舘村役場職員の皆さまと引越会社の方々と協働で実施



本庁舎へ搬入の様子

#### 南相馬市 竹林の伐採

実施期間 2016年8月24日～25日 実施場所 南相馬市

内容 地域住民の方々より、南相馬市社会福祉協議会災害復旧復興ボランティアセンターを経由しご要請いただき、竹林の伐採（竹の伐採から運搬・集積まで）を実施



切り倒しの様子

#### 「見回り活動」の拡大展開（富岡町）

実施期間 2016年9月17日より開始 実施場所 富岡町内（帰還困難区域を除く）

内容 2016年9月17日より開始された富岡町の準備宿泊に合わせ、週3日（水・土・日）「見回り活動」を展開。町内を車で巡回しながら住民の皆さまにお声掛けし、お手伝い（除草や片付け等）を実施



訪問ならびに面談の様子

#### ウインターイルミネーションの装飾

実施期間 2016年11月24日～12月2日 実施場所 楢葉町（天神岬スポーツ公園）

内容 楢葉町からの要請により、天神岬スポーツ公園内の「ウインターイルミネーション」の設置ならびに装飾を実施



イルミネーション設置の様子

#### スクールバス通行ルート/environment整備

実施期間 2016年11月7日～12月16日 実施場所 田村市（都路地区）

内容 田村市都路行政局からの要請により、樹木への積雪による通行止めを防ぐため、スクールバス通行ルート58路線（総延長108km）の環境整備（道路脇の樹木伐採、運搬、集積）を、2013年度より実施



伐採した樹木の運搬ならびに集積の様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2016年公表～

### 「絹の里やまきやスケートリンク」開場に向けたリンク整備

実施期間 2016年1月13日～25日 実施場所 川俣町（絹の里やまきやスケートリンク）

内容 スケートリンク副会長さまよりご要請をいただき、絹の里やまきやスケートリンクの開場に向けたリンク整備（水撒き、除雪等）を実施



水撒きの様子

### 成人式の会場設営ならびに後片付け

実施期間 2016年1月8日、12日 実施場所 楡葉町（あおぞらこども園）

内容 楡葉町よりご要請いただき、震災後、初めて楡葉町内で開催された成人式の会場設営ならびに後片付けを実施（2016年1月10日に、成人式を開催）



椅子片付け（収納）の様子

### 「双葉郡未来会議」の会場設営ならびに運営補助

実施期間 2016年3月19日 実施場所 郡山市（郡山市民文化センター）

内容 双葉郡未来会議事務局さまよりご要請いただき、会議開催に向けた会場設営（パネルの運搬・組み立て）ならびに事務局側スタッフ（ブースへの展示・対応等）として運営補助を実施



パネル搬入の様子

### 「川内の郷かえるマラソン」の運営補助

実施期間 2016年4月30日 実施場所 川内村

内容 川内村よりご要請いただき、全国より約1,200人のランナーが集まり開催された「川内の郷かえるマラソン」の運営補助（給水所の設営、駐車場誘導・交通整理）を実施



全体ミーティングの様子

### プール開きに向けた清掃

実施期間 2016年6月2日～6日 実施場所 田村市都路町（市営古道プール、市営岩井沢プール）

内容 田村市都路町行政局よりご要請いただき、田村市立古道小学校の児童ならびに都路中学校の生徒と協働で、プール開きに向けた清掃（古道プール）を実施（その他、岩井沢プールの清掃は、公民館職員の皆さまと協働で実施）



都路中学校の生徒の皆さんとの清掃（古道プール）の様子

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2015年以前公表～

- [復興の歩み] ・2014年4月1日 避難指示解除〔田村市都路地区〕  
 ・2014年10月1日 避難指示解除〔川内村の一部〕  
 ・2015年3月1日 常磐自動車道全線開通  
 ・2015年9月5日 避難指示解除〔楡葉町〕

[当社動向] ・2013年1月 福島復興本社を設置

### ■ 除染等推進活動

#### 楡葉町 農地モニタリング

実施期間 2013年10月7日～12月26日 実施場所 楡葉町



農地モニタリング

内容

楡葉町からのご要請により、除染後に試験栽培を行ったそば畑の鋤込み前後の空間線量率測定や、除染完了農地における土壌採取および空間線量率測定を985点で実施

#### 指向性モニタリング装置の開発

内容

- 一般的なNaIシンチレーション式サーベイメーター(以下、シンチレーターという)は、ほぼ全方位からの放射線を検出するため、空間線量率に及ぼす方向別の影響度については判別が困難
- 汚染範囲の確認に基づいた効果的な除染を実現するため、コリメータ・鉛遮蔽板を組み合わせ、シンチレーターの指向性を向上させたモニタリング装置を開発



※測定角度約45°



指向性モニタリングのイメージ・活用例(影響方向の把握)

#### 田村市 学校施設再開に伴うモニタリング

実施期間 2014年4月2日, 4月3日 実施場所 田村市都路町 学校施設5箇所



学校施設モニタリングの様子

内容

田村市からのご要請により、4月1日の避難指示解除後に学校施設が再開されることに伴い、施設のモニタリングを実施しました。測定の結果、ご安心して頂くデータを提供することができました

#### 個人線量計のデータ解析プログラム提供

実施期間 2014年5月13日～ 提供先 川内村



パソコン上に個人線量計の計測データを読み込み

内容

- 帰還に向けた準備宿泊において、川内村は個人線量計を住民の方々に配付している
- 同村からのご要請にもとづき、個人線量計で計測されたデータを解析し、わかりやすい報告書形式で出力するためのプログラムを作成・提供

プログラム画面

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2015年以前公表～

### 大玉村 北部ふれあいセンターの簡易除染作業

実施期間 2014年6月5日～7月1日 実施場所 大玉村内

内容 大玉村役場からのご要請により、地域住民の方々が利用される公共施設の簡易除染作業を実施



簡易除染作業

### 仮置場の管理状況確認

実施期間 2014年1月～6月

内容 環境省からのご要請により、除染特別地域内に設置された国が管理する仮置場について、目視による外観調査や線量測定等の現地確認を実施



遮蔽土のう状態調査状況

### 常磐自動車道全線開通前のモニタリング対応

実施期間 2014年10月21日～2015年1月27日 実施場所 常磐自動車道 広野 I C～南相馬 I C間(49.1km)及びならば P A 等

内容 内閣府原子力災害対策本部からの要請を受け、常磐自動車道 常磐富岡 I C～浪江 I C間の開通に向けて、自動車等で通行した際の放射性物質の影響を確認するため、当該高速道路等の空間線量率の測定を実施



走行モニタリングイメージ

### 桑折町 除染作業中・終了後の線量等の状態確認への対応

実施期間 除染作業中；2013年11月18日～2015年3月13日  
除染終了後；2014年11月17日～2015年6月11日 実施場所 桑折町

内容 桑折町さまからの要請により、同町の管理基準に基づく住宅の除染作業を2015年3月までに終了するため、同町の管理業務補助として延べ800軒弱の除染作業中および終了後の線量等の状態確認に対応



測定結果の確認状況  
(除染作業後)

### 楢葉町 帰還後の安心に向けた施策への対応

実施期間 2015年5月～ 実施場所 楢葉町

内容 9月5日に避難指示が解除された楢葉町において、環境省からの要請により、住民の方々がご不安に思われている箇所の現地調査や土壌除去を実施



現地調査状況

## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2015年以前公表～

### ■ 復興推進活動

#### 第6回いわきサンシャインマラソンの運営補助

実施期間 2015年2月7日～8日

実施場所 いわき市内

内容

いわき市から要請をいただき、開催前日の会場設営、また、大会当日の臨時駐車場の交通誘導（全39カ所の内14カ所）や撤収・清掃活動等を実施



会場周りの準備の様子

#### 葛尾村における家屋清掃

実施期間 2015年7月5日

実施場所 葛尾村

内容

葛尾村さまよりご要請をいただき、家屋清掃（屋内からの搬出・運搬ならびにフレコンバッグへの詰め込み等）をご被災者さまと協働で実施



家財等運搬の様子

#### 「都路灯まつり」の会場設営

実施期間 2015年7月16日～8月2日

実施場所 田村市  
グリーンパーク都路

内容

田村市都路行政局さまよりご要請いただき、「都路灯まつり」の開催に向けた会場設営を実施（2015年8月1日に開催）



「竹灯」打ち込みの様子

#### 「キャンドルナイト」および「復興祈念式典」の設営・片付け

実施期間 2015年9月4日～5日

実施場所 楡葉町 総合グラウンド、  
楡葉町立あおぞらこども園

内容

楡葉町よりご要請をいただき、9月5日の避難指示解除に伴う「キャンドルナイト」および「楡葉町復興祈念式典（記念植樹）」の開催に向けた会場設営や式典後の片付けを実施



キャンドル点灯の様子

#### 「見回り活動」の拡大展開

実施期間 2015年6月～

実施場所 楡葉町、川俣町、葛尾村、  
南相馬市

内容

楡葉町にて実施していた「見回り活動」について、川俣町、葛尾村の両町村では準備宿泊の開始に合わせ、8月31日より活動を実施  
また、南相馬市においては、10月21日より同活動を実施



【南相馬市】巡回中の様子



## 8. 福島復興へ向けた取り組み ～2015年以前公表～

### 小中学校再開に伴う荷物運搬等

実施期間 2014年2月26日～3月27日 実施場所 田村市内

内容

田村市さまからのご要請により、都路町の避難指示解除に伴う、小中学校等の再開に向けた準備作業として、本校舎への荷物運搬等を実施しました



備品等運搬の状況

### 双葉町役場本庁舎からの書類搬出

実施期間 2014年5月29日 実施場所 双葉町内

内容

双葉町内の役場本庁舎に保管されている書類の箱詰め・線量測定・搬出を行い、いわき事務所のあるいわき市内へ運搬



書類の搬出状況

### 墓地の除草・清掃作業

実施期間 2014年7月1日～8月14日 実施場所 川俣町、浪江町、葛尾村、  
双葉町、大熊町、富岡町、  
楡葉町

内容

お墓参りをされる方が増えるお盆を前に、約230箇所の子墓地の除草・清掃作業を実施



墓地除草・清掃の様子

### 川内村 林道の除草

実施期間 2014年7月8日～ 実施場所 川内村内

内容

川内村役場からのご要請により、一時帰宅や10月1日の避難指示解除準備区域の解除に向けて、村内の林道における円滑な車両走行や景観の回復のため、除草(全長約48km)を実施



除草の様子

### 浪江町 国道114号線沿線の柳伐採・除草作業

実施期間 2014年11月1日～11月16日 実施場所 浪江町 国道114号線沿線  
両側(浪江I.Cから常磐線  
陸橋まで片道2.5km)

内容

浪江町から要請をいただき、常磐道開通に向け国道114号線の浪江I.Cから市街地中心部までの沿線における柳の伐採及び除草を実施



作業後

除草作業前の様子

## 9. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

### 構築した事業体制による世界最新鋭の石炭火力発電所の建設・運営

- 2016年10月、三菱商事パワー(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、常磐共同火力(株)と当社の5社にて、「勿来IGCCパワー合同会社」※1と「広野IGCCパワー合同会社」※2による、発電所の建設・運営を実施する事業体制を構築
- 同事業を通じ、建設工事・資材発注および運用後の定期点検などによる産業基盤の創出の推進に貢献

※1 5社が出資(三菱商事パワー(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、東京電力ホールディングス(株)、常磐共同火力(株))

※2 4社が出資(三菱商事パワー(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、東京電力ホールディングス(株))

#### ■ 勿来IGCCパワー合同会社 (Nakoso IGCC Power GK)



設立：2016年8月2日  
 代表社員：三菱商事パワー(株)  
 資本金：100百万円  
 事業地：福島県いわき市岩間町  
 設備規模：定格出力54万kW 1基  
 運転開始：2021年3月(予定)



#### ■ 広野IGCCパワー合同会社 (Hirono IGCC Power GK)



設立：2016年8月2日  
 代表社員：三菱商事パワー(株)  
 資本金：100百万円  
 事業地：福島県双葉郡広野町  
 設備規模：定格出力54万kW 1基  
 運転開始：2021年9月(予定)



### 中小経年水力発電所の設備改修

- 猪苗代水系「日橋川発電所」・「金川発電所」の設備改修工事期間中の県内雇用の創出、県内事業者からの工事資機材等の調達を推進

#### 改修工事概要

##### 「日橋川発電所」

- ◆ 発電設備の改修
  - ✓ 既設発電設備の撤去
  - ✓ 発電設備の新設
- ◆ 発電所建屋の建替え
  - ・ 水車発電機全3台
  - ・ 最大出力  
10,600kW⇒11,000kW (約4%増)
- ◆ 運転開始 2021年2月(3号機)  
 (予定) 2021年3月(1号機)  
 2021年7月(2号機)

##### (発電設備の設置工事)

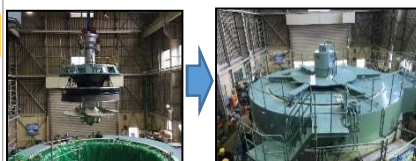


##### 「金川発電所」

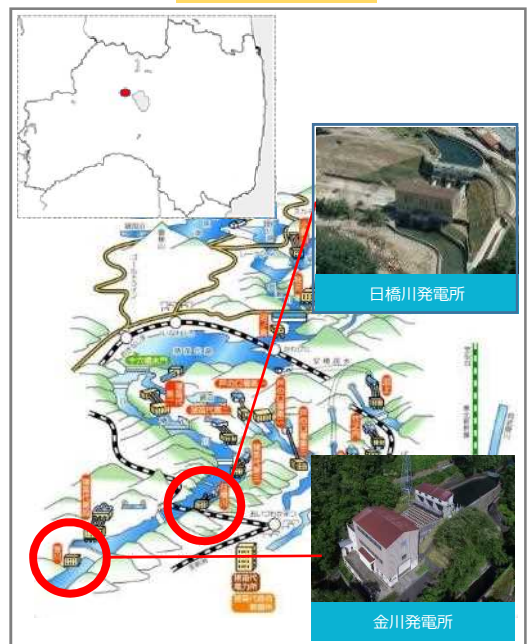
- ◆ 発電設備の改修
  - ✓ 既設発電設備の撤去
  - ✓ 発電設備の新設
- ・ 水車発電機全1台
- ・ 最大出力  
6,500kW⇒7,100kW (約9%増)

◆ 運転開始 2019年10月

##### (発電設備の設置工事)



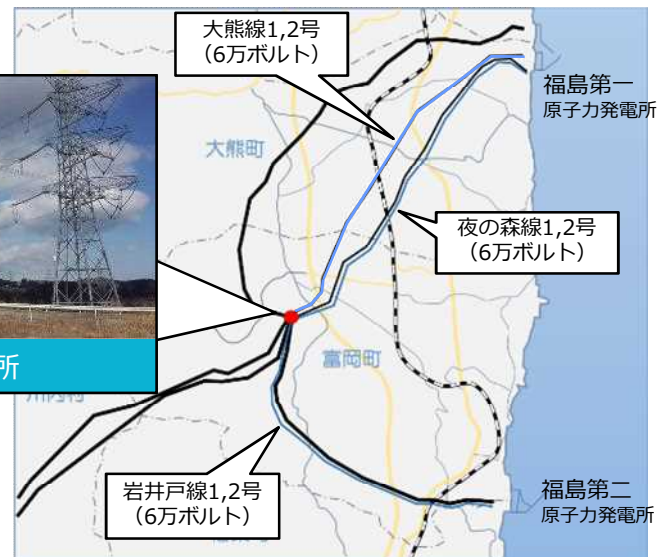
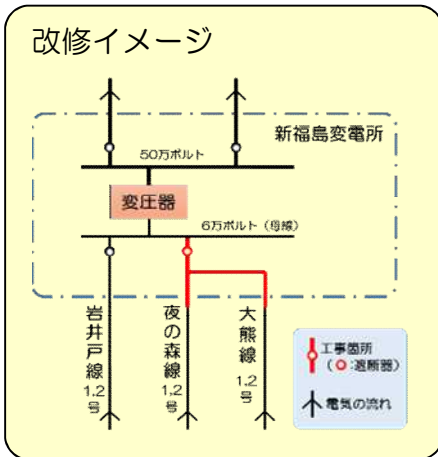
#### 発電所の位置



## 9. 雇用創出等福島復興に資する取り組み

### 福島県内再生可能エネルギー普及拡大への協力①（新福島変電所の設備改修）

- 2017年3月、県内再生可能エネルギーの普及に向けた、合計13万kWの再エネ接続が可能となる新福島変電所内の機器改修工事や送電線接続工事が竣工



### 福島県内再生可能エネルギー普及拡大への協力②（送電網建設・運営会社設立）

- 2017年3月、「福島新エネ社会構想」※に基づく阿武隈山地および福島県沿岸部における再生可能エネルギーの導入拡大に向け、福島発電(株)、(株)東邦銀行と当社の3社により、送電線の建設ならびに運営を担う事業会社「福島送電合同会社」を設立（2019年12月に株式会社へ移行）
- 同事業において、送電線・変電所の設計及び建設を実施し、2020年1月より一部運用開始

※2016年3月に「福島新エネ社会構想実現会議」が発足、同年9月に「福島新エネ社会構想」を取りまとめ

#### 事業会社の概要

##### ■ 福島送電株式会社

設立：2019年12月9日  
 （2017年3月15日、福島送電合同会社として設立、  
 2019年12月9日に株式会社へ移行）

代表取締役：佐々 恵一

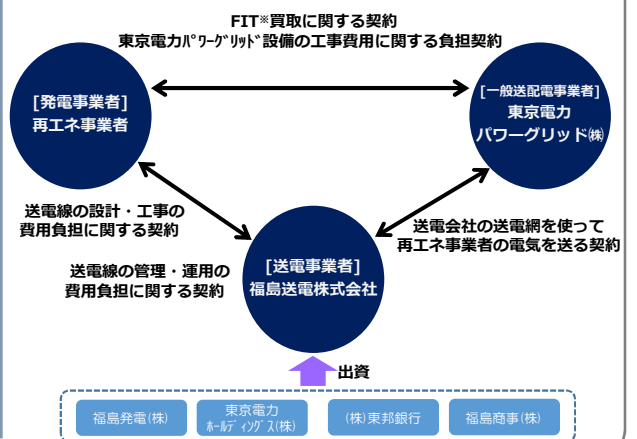
資本金：1,300万円

事業地：（本社）福島県福島市中町4番20号

出資比率：福島発電(株) (39.23%)  
 東京電力ホールディングス(株) (37.69%)  
 (株)東邦銀行 (11.54%)  
 福島商事(株) (11.54%)

事業内容：阿武隈山地、福島県沿岸部における送電線・変電所の設計、建設及び運営管理など

#### 事業イメージ



※FIT制度(固定価格買取制度):再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度

# 10. 東京電力廃炉資料館

## ■ 設置の趣旨

発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして国内外の多くの皆さまが、原子力事故の事実と廃炉事業の現状等をご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を当社施設である「旧エネルギー館（福島県双葉郡富岡町）」に設置いたしました

## ■ 施設の概要

- 名称：東京電力廃炉資料館
- 所在地：福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央378番地（旧エネルギー館）
- 開館：2018年11月30日
- 建物概要：【階層】2階建 【展示面積】約 1,900㎡
- 施設情報：【開館時間】9:30～16:30 【休館日】毎月第3日曜日・年末年始  
【入館料】無料（駐車場無料）



「東京電力廃炉資料館」の外観

## ■ <プロローグ>

東京電力からのご挨拶文で、来館される皆さまをお迎えます



## ■ <記憶と記録・反省と教訓>

原子力事故を振り返り、その反省と教訓をお伝えします



## ■ <廃炉現場の姿>

廃炉事業の全容と最新の現場の状況をお伝えします



福島復興への取り組み、原子力や放射線等の情報をご覧ください



## (参考)福島復興へ向けた取り組み “アーカイブページ” のご案内

- 過去代表定例会見でお知らせした内容は、当社ホームページ内にある“福島復興本社専用ページ”からご覧いただけます。

### ① インターネットから下記キーワードで検索

東京電力 福島復興への責任



### ② 福島復興本社のホームページからご覧いただく項目(③～⑤)を選択

TEPCO エネルギー情報 TEPCOの財務 東京電力ホールディングスの概要 福島への責任

福島復興への責任

③ アーカイブ (除染・復興推進)

④ 公表資料・動画※

※流通促進活動の過去公表している事例は各公表資料をご確認ください

福島復興への責任を果たすために

動画でみる福島復興の取り組み

福島県産品の美味しさ・魅力をお伝えします

⑤ 福島県産品の流通促進に向けた取り組み (イベント情報・県産品の魅力発信)

動画でみる福島復興の取り組み

東京電力廃炉資料館

外部リンク

ふくしま応援企業ネットワーク

ふくしま応援企業ネットワーク

原子力事故の影響による福島県の風評被害払拭へ貢献しようという志を持った企業の連絡協議会です。

## (参考)福島復興へ向けた取り組み “アーカイブページ” のご案内

### ③ アーカイブ：復興本社設立以降の活動を年ごとに整理されたページで確認

### ④ 公表資料・動画：代表定例会見の過去の公表資料・会見の様子を確認

### ⑤ 福島県産品の流通促進に向けた取り組み：最新のイベント等を確認



本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。